

2022年6月新聞書評に掲載された本



人はどう死ぬのか(講談社現代新書 2655)

久坂部 羊 著

講談社

家族や自分の死が間近に迫ったとき、最良の方法を選び、亡くなったあとに悔いを残さないようにするには、何を準備すればよいのか。在宅診療医として数々の死を看取った小説家が、新しい「死に方」を綴る。

産経新聞 2022/06/04

2022:3./ 218p
978-4-06-527719-5

¥990 [税込]



13枚のピンぼけ写真

キアラ・カルミネーティ、古山 拓 著

岩波書店

第一次世界大戦時の北イタリア。男たちが戦場へ行ったあと、母とはぐれたイオランダは、妹とともに旅を重ね、思いがけない人々と出会い…。13歳の少女が、自分の手で生きる力をつかみとっていく感動の物語。

産経新聞 2022/06/05

2022:3./ 238p
978-4-00-116036-9

¥1,870 [税込]



縄文人は海を越えたか?～「文化圏と言葉」の境界を探访する～(朝日選書 1028)

水ノ江和同 著

朝日新聞出版

100年にわたり、大陸伝来か、日本自生・固有かが問われてきた縄文文化。日本列島とその周辺地域で出土した考古資料を丁寧に比較し、縄文文化の本質や独自性に迫る。語句解説と想定図、研究の基本を学ぶためのコラムも満載。

産経新聞 2022/06/05

2022:4./ 281p
978-4-02-263118-3

¥1,870 [税込]



ワイン迷子のための家飲みガイド

安齋 喜美子 著

集英社

ワイン取材歴23年の著者が、「家飲み」の楽しみを案内。3000円台までで美味しいワインを選ぶための基礎知識、生産国別おすすめワイン、料理とワインの意外な相性、おすすめのワインショップなどを紹介する。

産経新聞 2022/06/05

2021:12./ 203p
978-4-08-781711-9

¥1,760 [税込]



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2022年7月時点での税込み価格です。



名医が教える飲酒の科学～一生健康で飲むための必修講義～

葉石かおり 著

日経BP社

なぜ人は酔い、二日酔いになり、飲み過ぎて病気になり、また下戸は飲めないのか。様々な病気のスペシャリストや、酒の人体への影響を調べる研究者が、飲酒に関する最新の科学的な知見を分かりやすく解説する。

産経新聞 2022/06/05

2022:3/ 291p
978-4-296-11187-9

¥1,650〔税込〕



明日のフリル

松澤くれは 著

光文社

上野の森に佇む、夜だけオープンする謎めいた洋服屋。素敵な服を丹念に仕立てるのは、ファッションデザイナーの梓振流。その店を訪れたアパレル販売員の五福あやめは、振流の作るアイテムに心動かされ...

産経新聞 2022/06/05

2022:2/ 311p
978-4-334-91447-9

¥1,980〔税込〕



ボマーマフィアと東京大空襲～精密爆撃の理想はなぜ潰えたか～

マルコム・グラッドウェル 著

光文社

10万人以上の命を奪った東京大空襲に至る様々な要因を検証。照準器を発明したオランダ人、ナパームを生み出した化学者、米陸軍航空隊戦術学校のリーダーたちの思惑を通して、空前の殺戮の裏側を描く。

産経新聞 2022/06/05

2022:5/ 225p
978-4-334-96255-5

¥1,870〔税込〕



中東問題再考(扶桑社新書 427)

飯山 陽 著

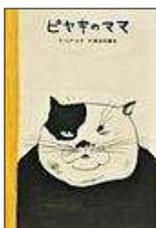
育鵬社

アフガニスタン報道が隠すタリバンの本性、「イラン・トルコは親日」言説が覆い隠すイラン・トルコの現実...。日本のメディアや専門家による従来の解説の誤り、偏向を正し、本当の中東の姿を示す。

産経新聞 2022/06/05

2022:4/ 351p
978-4-594-09062-3

¥1,078〔税込〕



ピヤキのママ

ペク・ヒナ 著

ブロンズ新社

大好物から生まれたのは、愛だった!? ふだつきのねこニャンイが、生まれたてのたまごを食べたところ、なぜか日に日にお腹がふくらんできた。がまんできなくなって、トイレでふんばると、出てきたのはひよこで...

産経新聞 2022/06/05

2022:5/ 1冊(ページ
付なし)

978-4-89309-706-4

¥1,650〔税込〕





「愛国」としての「反日」～奇形の軍民関係を正す～(クライテリオン叢書)

小幡 敏 著

啓文社書房

自衛隊は本当に戦える「軍隊」なのか!? 国民は戦う気概を持っているのか!? 元自衛官が、今日の日本人に欠如した思想、荒廃した精神を鋭く指摘する。

2022:3./ 286p
978-4-89992-078-6

¥1,980〔税込〕



産経新聞 2022/06/05



家系図でわかる日本の上流階級～この国を動かす「名家」「名門」のすべて～

八幡和郎 著

ジェイワイエス(株)

岸田家、安倍家、麻生家、鳩山家、河野家などの政界、渋沢家などの財界、皇室、旧宮家、旧華族…。日本の名家・名門の系譜を紹介する。家系図、華族約1000家の一覧、47都道府県の名門など貴重データが満載。

2022:5./ 303p
978-4-909979-31-5

¥1,760〔税込〕



産経新聞 2022/06/05



ウェルカム・ホーム!

丸山 正樹 著

幻冬舎

拒食状態の登志子さんが一度だけきちんと食べたのはなぜ? 口に麻痺のある當間さんが言う「アアイオウエ」とは? 謎が解けるたび、新米介護士・康介は、この仕事の面白さに少しだけ目覚め…。『小説すばる』掲載を加筆修正。

2022:5./ 310p
978-4-344-03958-2

¥1,760〔税込〕



産経新聞 2022/06/05、朝日新聞 2022/06/25



昨日も世界の果てまでひとりっぶ<5> 行かぜ、ニッポン編(集英社ムック)

ひとりっP 著

集英社

女子のための究極ひとり旅=ひとりっぶを指南! 石川・輪島、京都、愛媛など、著者が実際に旅したニッポンの各所での感動ポイントを、自身が撮影した写真とともに紹介します。旅のリアルな着こなし等も掲載。

2022:3./ 143p
978-4-08-102339-4

¥1,479〔税込〕



産経新聞 2022/06/11



上岡龍太郎話芸一代 増補新版

戸田学 著

青土社

ラジオ、漫談、上岡流講談、テレビ…。上岡龍太郎の「芸」とは? 上岡自身や関係者の証言から話芸の真髄を描き出す。上岡のインタビューを新たに再録した増補新版。上岡流講談「ロミオとジュリエット」の音源QRコード付き。

2022:3./ 347p
978-4-7917-7456-2

¥2,420〔税込〕



産経新聞 2022/06/11



夢伝い

宇佐美 まこと 著
集英社

自らの胎内で卵を孵すセグロウミヘビを手に入れてから、海洋生物マニアの男の生活は一変し…。「卵胎生」をはじめ、日常に潜む怪異、心理の歪みから生まれる怪奇を描いた全11編を収録する。『小説すばる』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/06/12

2022:5./ 330p
978-4-08-771796-9

¥1,980〔税込〕



戦国日本の軍事革命～鉄炮が一変させた戦場と統治～(中公新書 2688)

藤田 達生 著
中央公論新社

戦場の光景を一変させた鉄炮の伝来。16世紀の日本にもたらされた軍事革命に着目しながら、それがヨーロッパで誕生した近代国家とは異なった政治思想にもとづく近世国家を生み出したことの、歴史的意義を明らかにする。

産経新聞 2022/06/12

2022:3./ 7p,222p
978-4-12-102688-0

¥924〔税込〕



属国の銃弾

永瀬 隼介 著
文藝春秋

叩き上げ政治家“今太閤”千石と、元警視庁刑事の秘書・神野。2人は歴史から葬り去られた“ある過去”を共有していた。終戦直後と高度成長期の2つの東京を舞台に、男たちが挑んだ日本復活計画を描き出す。

産経新聞 2022/06/12

2022:5./ 477p
978-4-16-391538-8

¥2,310〔税込〕



荒野にヒバリをさがして

アンソニー・マゴーワン 著
徳間書店

ヒバリを見るため、犬のティナを連れて、田舎へハイキングに出かけたニッキーと兄のケニー。ところが季節外れの雪で道に迷い…。ヨークシャーの荒野を舞台に、兄弟、家族の絆をドラマティックに描く。

産経新聞 2022/06/12

2022:2./ 156p
978-4-19-865430-6

¥1,540〔税込〕



一緒に生きる～親子の風景～

東直子 著
福音館書店

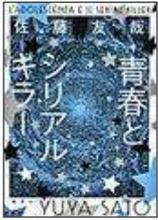
泣く子の理由、家族の役割、名前をつけたときのこと…。歌人・東直子が、先人の詩や短歌と共に、幼い子との暮らしでいただく悩みや葛藤を綴った子育てエッセイ。山崎ナオコーラとの対談も収録。『母の友』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/06/12

2022:5./ 237p
978-4-8340-8664-5

¥1,760〔税込〕





青春とシリアルキラー

佐藤 友哉／佐藤 友哉 著
ホーム社

青春が終わっても人生は続く。若さゆえの生きづらさを描いてきた小説家の、38歳から40歳までの苦しみの日々を描いた長編小説。「ドグマ34」も併録。『HB』『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/06/12

2022:4./ 243p
978-4-8342-5356-6

¥1,980〔税込〕



朝倉摂の見つめた世界～絵画と舞台と絵本と～

神奈川県立近代美術館／練馬区立美術館／福島県立美術館 著
青幻舎

画家・舞台美術家として活躍した朝倉摂。常に「いま」を生きた朝倉摂の創作活動の全体像を、日本画、挿絵、舞台美術作品や、谷川俊太郎、渡辺保らの寄稿で振り返る。2022年開催展覧会の公式図録。

産経新聞 2022/06/12

2022:4./ 278p
978-4-86152-889-7

¥2,750〔税込〕



梨の形をした30の言葉～エリック・サティ箴言集～

椎名 亮輔／椎名 亮輔／椎名 亮輔 著
アルテスパブリッシング

独特の音楽世界とともに、奇妙な言動によっても知られるエリック・サティ。楽譜の指示書き、歌詞や台本、エッセイや講演、書簡などから、30の言葉を厳選。そこにこめられた背景を詳しく解説し、その魅力と人間像にせまる。

産経新聞 2022/06/12

2022:5./ 301p,9p
978-4-86559-250-4

¥2,200〔税込〕



危機の外交～岡本行夫自伝～

岡本 行夫 著
新潮社

虚々実々の情報戦、薄氷の交渉テーブル、そして裏切り。コロナ禍で命を落とした不世出の外交官は、秘録と呼ぶべき経験と日本の課題、そして真の脅威について書き遺していた。日米同盟の最深部まで知る岡本行夫の渾身の手記。

産経新聞 2022/06/12、日本経済新聞 2022/06/18、読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 477p
978-4-10-354561-3

¥2,420〔税込〕



日本建築史講義～木造建築がひもとく技術と社会～

海野 聡 著
学芸出版社

なぜその時代に、その材料が、技術が変化したのか？歴史資料をベースに、日本の木造建築の成り立ちを政治・経済・宗教など社会背景とともに語る。2019～2020年度に行われた東京大学での講義をまとめる。

産経新聞 2022/06/18

2022:5./ 447p
978-4-7615-2816-4

¥3,300〔税込〕





人は聞き方が9割～1分で心をひらき、100%好かれる聞き方のコツ～

永松茂久 著
すばる舎

聞き方をちょっと変えるだけで、仕事もプライベートも大きく好転する。なぜ「聞く人」はうまくいくのかを解説し、人に好かれる人の聞き方、嫌われない聞き方などを紹介する。好かれる会話ができるっておきの秘訣が満載。

産経新聞 2022/06/18

2021.12./ 236p
978-4-7991-1008-9

¥1,540〔税込〕



韓国語楽習法～私のハングル修行40年～(角川新書 K-390)

黒田 勝弘 著
KADOKAWA

日本語と一緒に語順、ローマ字と似た仕組みの文字、多くの漢字由来の言葉…。韓国語は日本人にとって非常に学びやすい外国語。1970年代に韓国に渡りハングルを限りなく楽しんできたベテラン記者が、習得の極意を紹介する。

産経新聞 2022/06/19

2022.4./ 247p
978-4-04-082431-4

¥990〔税込〕



高く翔べ～快商・紀伊國屋文左衛門～

吉川 永青 著
中央公論新社

紀州の農民から日ノ本随一の豪商となった紀伊國屋文左衛門。蜜柑の商いで故郷を救い、莫大な富を得ながらも一代で店を閉じた、江戸っ子たちの英雄だった男の謎多き生涯に迫る歴史×経済小説。

産経新聞 2022/06/19

2022.5./ 371p
978-4-12-005537-9

¥2,090〔税込〕



経済安全保障～異形の大国、中国を直視せよ～

北村 滋／大藪 剛史 著
中央公論新社

無防備な「スパイ天国」から脱却せよ。中国の野心に目を凝らせ-。前国家安全保障局長が、軍備を拡張し、一方的な現状変更も辞さない中国の野望と戦略を分析。日本を守る指針を提示し、最新の経済安全保障事情を解き明かす。

産経新聞 2022/06/19

2022.5./ 325p
978-4-12-005539-3

¥2,200〔税込〕



世界を喰らう龍・中国の野望

ピエール=アントワーヌ・ドネ 著
春秋社

人権抑圧、環境破壊、拡張主義…。なぜ中国は世界の良心を試す存在になったのか。21世紀の覇権を狙う大国にどう対処すればいいのか。フランスのベテラン・ジャーナリストが様々な角度から徹底的に考察する。

産経新聞 2022/06/19

2022.2./
17p,308p,30p
978-4-393-33389-1

¥2,750〔税込〕





世界のふしぎな色の名前

城 一夫／カラーデザイン研究会 著
グラフィック社

「霧につつまれた恋」「修道士のずきん」「エンジェル・レッド」「農民の青」「クレオパトラ」ってどんな色？ 忘れられた流行色から今も残る伝統色まで、ふしぎな名前の色を 166 色集め、描き下ろしの挿絵とともに紹介する。

産経新聞 2022/06/19

2022:6./ 207p
978-4-7661-3554-1
¥1,980〔税込〕



台湾の日本人～証言と史料が示す「親日」のルーツ～

喜多由浩 著
産経新聞出版

なぜ台湾は「親日」なのか。台湾統治の礎を築いた後藤新平、「医のバトン」を繋いだ森鷗外父子…。日本統治時代(1895～1945年)の台湾で、近代化に尽くした日本人を紹介する。『産経新聞』連載を再構成し加筆修正。

産経新聞 2022/06/19

2022:5./ 309p
978-4-8191-1413-4
¥1,650〔税込〕



杳が行く。

戌井 昭人 著
左右社

「すっ裸でランチなんてしたくねえっす」「ズタズタやキワモノどもが夢のあと」…。映えない写真が物語る、抱腹絶倒のショートショート紀行。『BRUTUS』連載を加筆修正し、書き下ろしエッセイを加えて書籍化。

産経新聞 2022/06/19

2022:5./ 252p
978-4-86528-073-9
¥2,090〔税込〕



ハイドロサルファイト・コンク

花村 萬月 著
集英社

遠くない未来に、私は死ぬ。骨髄異形成症候群発症から骨髄移植、GVHD、間質性肺炎、脊椎四カ所骨折へと到る治療の経過を観察しつづけた著者自身によるドキュメンタリー・ノベル。『すばる』連載を単行本化。

産経新聞 2022/06/19、読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 365p
978-4-08-771783-9
¥2,420〔税込〕



きたきた捕物帖(PHP 文芸文庫 み 1-19)

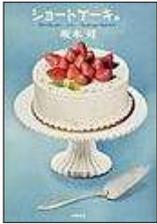
宮部 みゆき 著
PHP 研究所

江戸は深川、親分の跡を継いで岡っ引きたらんとする北一が、相棒・喜多次やおかみさんの力を借りて成長し、事件や不思議なできごとを解き明かす。謎解き×怪異×人情の捕物帖シリーズ、第1弾。

産経新聞 2022/06/25

2022:3./ 441p
978-4-569-90201-2
¥968〔税込〕





ショートケーキ。

坂木 司 著
文藝春秋

ショートケーキが売れ残ることはない。だからバイト割引で買って帰れるのはもっぱら安めのケーキだ。表題作など、誰からも愛されるケーキをめぐる5つの物語を収録。『オール讀物』『別冊文藝春秋』掲載を改稿し単行本化。

産経新聞 2022/06/26

2022:4./ 181p
978-4-16-391524-1
¥1,540〔税込〕



日本美術の核心〜周辺文化が生んだオリジナリティ〜(ちくま新書 1633)

矢島 新 著
筑摩書房

遊び心にあふれ見る者を楽しませる造形によって彩られ、真実よりも美しさを追求し発展してきた日本美術。「わび」「デザイン性」「文字との融合」など、世界に類のないそのオリジナリティを、豊富な図版とともに読み解く。

産経新聞 2022/06/26

2022:2./ 284p
978-4-480-07460-7
¥1,067〔税込〕



世界と日本を 目覚めさせたウクライナの「覚悟」

倉井 高志 著
PHP研究所

2022年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始した。前ウクライナ大使が、ロシアがこのような行動に出た理由、抵抗し続けるウクライナの力の源泉、安全保障システムのあり方などを考える。

産経新聞 2022/06/26

2022:6./ 222p
978-4-569-85243-0
¥1,760〔税込〕



小さいわたし

益田 ミリ 著
ポプラ社

ピアノ教室、学校のトイレ、お金のチョコレート、校長先生…。かけがえのない一瞬を切り取った、宝物のような春夏秋冬。イラストレーター・益田ミリが、長い人生のほんのひととき、短いこども時代の思い出を綴る。

産経新聞 2022/06/26

2022:6./ 173p
978-4-591-17400-5
¥1,540〔税込〕



中野ブロードウェイ物語

長谷川 晶一／長谷川 晶一 著
亜紀書房

屋上プール付き分譲マンションと「まんだらけ」などのサブカル店舗群が同居した異空間「中野ブロードウェイ」。中央線文化圏を先導し、今なおアメーバ的進化を続ける巨大建造物の全貌に、当地に暮らす著者が迫った異色ルポ。

産経新聞 2022/06/26

2022:4./ 285p
978-4-7505-1738-4
¥1,870〔税込〕





村上春樹のタイムカプセル～高野山ライブ 1992～

加藤 典洋／小浜 逸郎／竹田 青嗣／橋爪 大三郎 著
而立書房

新刊が出るたび 100 万部単位の売上げを記録し、時代の先端を走る象徴的な「事件」であった村上春樹。1992 年に高野山で行なわれた村上春樹をめぐる伝説のライブ討論を書籍化。

産経新聞 2022/06/26

2022:5./ 358p
978-4-88059-434-7
¥2,420〔税込〕



補給戦～ヴァレンシュタインからパットンまでのロジスティクスの歴史～ 増補新版

マーチン・ファン・クレフェルト／マーチン・ファン・クレフェルト 著
中央公論新社

16 世紀以降、ナポレオン戦争、二度の世界大戦までの戦闘を「補給」という観点から分析。兵站の計画、実施、戦闘への影響を、弾薬、糧食等の数値と計算に基づいて解説し、補給こそが戦いの勝敗を決することを明快に論じる。

産経新聞 2022/06/26、読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 459p
978-4-12-005531-7
¥2,970〔税込〕



学問の自由の国際比較～歴史・制度・課題～

羽田 貴史、松田 浩、宮田 由紀夫 著
岩波書店

「学問の自由」とは何であるのか。アメリカ、ドイツ、フランス、中国、EU、日本を対象に、その理念の生成と発展において異なる道を辿った各国の法と保障の体系、近年の侵害事象や「大学改革」に発する問題群を論じる。

朝日新聞 2022/06/04

2022:3./
13p,317p,27p
978-4-00-061523-5
¥6,490〔税込〕



谷中村滅亡史(岩波文庫)

荒畑 寒村 著
岩波書店
朝日新聞 2022/06/04

1999:5./ 196p
978-4-00-331373-2
¥726〔税込〕



学問と政治～学術会議任命拒否問題とは何か～(岩波新書 新赤版 1925)

芦名 定道、宇野 重規、岡田 正則、小沢 隆一、加藤 陽子、松宮 孝明 著
岩波書店

2020 年 10 月、時の首相・菅義偉は、日本学術会議から新会員として推薦を受けた 105 人のうち 6 人の任命だけを拒否した。問題の核心はどこにあるのか。日本社会の矛盾に直面した当事者 6 人が、その背景と本質を問う。

朝日新聞 2022/06/04

2022:4./ 7p,173p,29p
978-4-00-431925-2
¥924〔税込〕





森と木と建築の日本史(岩波新書 新赤版 1926)

海野 聡 著
岩波書店

日本の歴史とは、木とともに歩んだ歴史である。森のめぐみを楽しんだ先史時代から、森との共生をみざす現代まで、建築のみならず流通にも着目し、考古・民俗・技術などの知見も駆使して、人びとが育んだ「木の文化」を描く。

朝日新聞 2022/06/04

2022:4./ 3p,255p,2p
978-4-00-431926-9

¥990〔税込〕



インテリジェンス都市・江戸～江戸幕府の政治と情報システム～(朝日新書 863)

藤田 覚 著
朝日新聞出版

江戸は、全国の、また外国の情報も集中するインテリジェンス都市だった。江戸に情報が集まる政治と交通の仕組み、江戸幕府が情報を収集するための組織、内密の情報収集と分析、政策や政治判断への活用などを紹介する。

朝日新聞 2022/06/04

2022:5./ 210p
978-4-02-295169-4

¥869〔税込〕



辛酸～田中正造と足尾鉍毒事件～ 改版新装版(角川文庫 し 4-8)

城山 三郎 著
KADOKAWA

足尾銅山の鉍毒で被害を受け、反対運動の急先鋒に立っていた谷中村。銅山の資本家と結託した政府は土地を買収し、村を遊水池として沈めようとする。反対運動の指導者・田中正造は村を守るため、政治権力に法廷での対決を挑む。

朝日新聞 2022/06/04

2021:6./ 237p
978-4-04-111437-7

¥704〔税込〕



世界鉄道文化史(講談社学術文庫 2718)

小島 英俊 著
講談社

鉄道の誕生、それは新たな文化の創造でもあった! 文学作品、新聞記事、評論、写真、絵画、デザインなどに表現された鉄道文化を、日本と世界の比較を通して描く。

朝日新聞 2022/06/04

2022:5./ 330p
978-4-06-527708-9

¥1,353〔税込〕





これ描いて死ね(ゲッサン少年サンデーコミックス)

とよ田 みのる 著
小学館

◎とよ田みのる最新作は、漫画家漫画！ 漫画の可能性をひたすらに探究した前作『金剛寺さんは面倒臭い』完結から1年8か月。待望の新作は、漫画を描く喜びも苦しみも、ぜえ～～～～んぶを詰め込んだ、漫画愛に満ち溢れた漫画浪漫成長譚！漫画を愛する全ての人に届けッ！！東京の島しょ・伊豆王島に住む安海 相は、漫画が大好きな高校1年生。長年活動休止状態の憧れの漫画家 ☆野0先生がコミティアに出展することを知り、東京都区内に旅立つことに...そしてコミティア会場での思わぬ出会いが相の人生を変える！漫画家にはどうやったらなれるのか？知っているようで知らない漫画創作の世界。この物語は、その世界に続く“まんが道”へ踏み出していく少女の物語。漫画家を目指している人にも、かつて目指していた人にも、漫画が好きな人にももちろん、漫画を毛嫌いしている人にも、漫画を読んだことがない人にだって絶対に読んでもらいたい漫画の漫画ッ！！ゲッサン本誌掲載時のカラーページを単行本でもカラーで再現！巻末には本作に実は深く関わる作品だった「週刊ビッグコミックスピリッツ」に掲載された読切、『デビュー』タイトル改めの『ロストワールド』を収録！

2022:5./ 208p
978-4-09-851143-3

¥819 [税込]



朝日新聞 2022/06/04



路傍の石 改版(新潮文庫)

山本 有三 著
新潮社
朝日新聞 2022/06/04

2003:1./ 601p
978-4-10-106009-5

¥1,045 [税込]



朝日新聞 2022/06/04



日本秋景〜ピエール・ロチの日本印象記〜

ピエール・ロチ 著
中央公論新社

神戸から京都、奈良、鎌倉、東京、そして日光へ。明治中期の日本を、フランス人海軍士官が鉄道と人力車で駆け巡る！19世紀後半を代表する文筆家ロチの歴史的な名著の新訳。日本の心と美を鮮烈に描き出す。

2020:9./ 300p
978-4-12-005333-7

¥2,530 [税込]



朝日新聞 2022/06/04



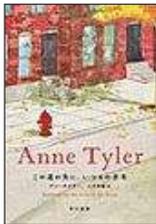
物語ウクライナの歴史〜ヨーロッパ最後の大国〜(中公新書)

黒川祐次 著
中央公論新社
朝日新聞 2022/06/04

2002:8./ 268p
978-4-12-101655-3

¥946 [税込]





この道の先に、いつもの赤毛

アン・タイラー 著
早川書房

ボルティモアの郊外で、コンピューターの便利屋をしながら独り暮らす 43 歳のマイカ。ある日、マイカの息子だと名乗る青年が彼の元を訪れる。さらに、恋仲の女性には別れを告げられ…。不器用な中年男性のやり直しの物語。

朝日新聞 2022/06/04

2022:3/ 239p
978-4-15-210091-7

¥3,190 [税込]



君たちはしかし再び来い

山下 澄人 著
文藝春秋

腹が破裂して、死にますよと言われた。3 度の入院、飼猫の手術、コロナ-痛みは私を歴史や宇宙の謎へ導き…。分断と混乱の時代に、あらゆる束縛を小説で超越してきた著者の渾身の一作。『文學界』『三田文學』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/06/04

2022:4/ 252p
978-4-16-391525-8

¥1,980 [税込]



ジャカルタ・メソッド～反共産主義十字軍と世界をつくりかえた虐殺作戦～

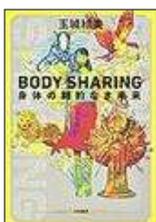
ヴィンセント・ベヴィンス 著
河出書房新社

冷戦下に起きたインドネシア大虐殺の裏には、「ジャカルタ・メソッド」と呼ばれる、米国政府の共産主義者「絶滅」作戦があった。機密解除された文書や膨大な資料、12 か国での取材によってその全容を解明する。

朝日新聞 2022/06/04

2022:4/ 413p
978-4-309-22849-5

¥4,180 [税込]



BODY SHARING～身体の制約なき未来～(未来のわたしにタネをまこう 03)

玉城 絵美 著
大和書房

世界と人のあり方を大きく変容させる可能性を秘めた「BodySharing」。そのテクノロジーや、それが人の身体と知覚、社会と世界をどのように変えていくかを解説。「体験共有」の観点から人類の可能性と未来を描く。

朝日新聞 2022/06/04

2022:3/ 319p
978-4-479-39377-1

¥2,090 [税込]



圏外編集者(ちくま文庫 つ9-10)

都築 響一 著
筑摩書房

珍スポット、独居老人、路傍の現代詩、カラオケスナック…。ほかのメディアとはまったく違う視点から「気になるもの」を追い続ける著者が、好奇心だけで道なき道を歩んできた半生とともに編集という仕事の面白さと本質を語る。

朝日新聞 2022/06/04

2022:5/ 268p 図版
32p
978-4-480-43819-5

¥924 [税込]





Hirosuke Sculptures

矢部 裕輔 著
求龍堂

彫刻家・矢部裕輔の初めての作品集。木材や小さな木片、廃材から生み出した、強烈な存在感を放つモンスターや悪魔、愛らしい反面ちょっと怖さが潜む女の子やユーモラスな動物、不可解な生き物を収録。

朝日新聞 2022/06/04

2022:5./ 159p
978-4-7630-2204-2

¥3,630〔税込〕



オーウェル『一九八四年』～ディストピアを生き抜くために～(世界を読み解く一冊の本)

川端 康雄 著
慶應義塾大学出版会

全体主義国家によって分割統治された近未来世界を描いた、世界的ベストセラー「一九八四年」。その成立と世界に与えたインパクトを確認し、主要人物たちの「愛」の関係など重要なトピックを取り上げて、小説を読解する。

朝日新聞 2022/06/04

2022:4./ 4p,249p
978-4-7664-2557-4

¥2,420〔税込〕



「予科練」戦友会の社会学～戦争の記憶のかたち～

清水 亮 著
新曜社

敗戦後「予科練くずれ」と蔑まれた元少年航空兵達は、高度成長期に再結集し、学歴認定や銅像・記念館建設を意外な支援者たちと達成した。戦後社会に隠れた世代・階級横断的なつながりを解読し、彼らの実像に迫る。

朝日新聞 2022/06/04

2022:3./ 254p
978-4-7885-1761-5

¥3,520〔税込〕



デザインと障害が出会うとき(Make:Japan Books)

Graham Pullin 著
オライリー・ジャパン

さまざまな障害とプロダクトデザインの関係性をテーマにした書。障害を目立たなくしたり、魅力的に見せるデザインや、健常者と障害者がともに使えるデザインなど、障害に配慮したデザイン事例やデザイナーのインタビューを紹介。

朝日新聞 2022/06/04

2022:3./ 406p
978-4-87311-985-4

¥3,520〔税込〕



そして、ぼくは旅に出た。～はじまりの森ノースウッズ～(文春文庫 お80-1)

大竹 英洋 著
文藝春秋

世界的な写真家に弟子入りを志願するためノースウッズへ。それが自分の人生を前に進めることのできる、ただひとつの行動だった。大自然に憧れ、写真家をめざすことになった1999年の旅を綴る。

朝日新聞 2022/06/04、日本経済新聞 2022/06/04

2022:5./ 459p
978-4-16-791883-5

¥1,122〔税込〕





パンどろぼう

柴田 ケイコ 著
KADOKAWA

パンどろぼうは、おいしいパンを食べるのが大好き。ある日、パンどろぼうは、森の中で「せかいいちおいしい」と書いてあるパン屋さんを見つけた。さっそくパン屋にしのびこんで、焼き立てパンをぬすみただけで...

朝日新聞 2022/06/11

2020:4./ 32p
978-4-04-109060-2
¥1,430〔税込〕



すべての月、すべての年〜ルシア・ベルリン作品集〜

ルシア・ベルリン 著
講談社

魂の作家ルシア・ベルリン。表題作をはじめ、「掃除婦のための手引き書」の底本である短編集より、同書に収録しきれなかった「失われた時」「情事」など19編を収録する。

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 373p
978-4-06-524166-0
¥2,640〔税込〕



掃除婦のための手引き書〜ルシア・ベルリン作品集〜(講談社文庫 へ 11-1)

ルシア・ベルリン 著
講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から10年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24篇をよりすぐって収録する。

朝日新聞 2022/06/11

2022:3./ 367p
978-4-06-527307-4
¥990〔税込〕



彼女たちの場合は<上>(集英社文庫 え 6-16)

江國 香織 著
集英社

14歳の礼那と17歳の逸佳。NY郊外に住むいとこ同士の2人は、ある秋の日、“アメリカを見る”旅に出た。ボストン、メインビーチズ、マンチェスターと旅は続き...。「あの日の自分」に出逢えるロードノベル。

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 318p
978-4-08-744370-7
¥704〔税込〕



彼女たちの場合は<下>(集英社文庫 え 6-17)

江國 香織 著
集英社

ふたりきりでアメリカを旅する礼那と逸佳だったが、突然クレジットカードが使えなくなってしまう。そこで逸佳はナッシュヴィルのバーでこっそり働くことに。その頃、家族にもまた大きな変化が...。彼女たちの旅のゆくえは-

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 301p
978-4-08-744371-4
¥704〔税込〕





戦後日本社会保障の形成～社会保障制度審議会と有識者委員の群像～

小野 太一 著

東京大学出版会

戦後日本の社会保障制度審議会が日本の社会保障の生成、発展にいかに関与したかを解説。制度審という組織体に着目して通史的な分析を行い、歴代の主要有識者委員らの理論や思想が社会保障の発展に与えた影響を論じる。

朝日新聞 2022/06/11

2022:3./ 18p,317p
978-4-13-056402-1

¥7,040〔税込〕



* 9 7 8 4 1 3 0 5 6 4 0 2 1 *



戦争と法

長谷部 恭男 著

文藝春秋

戦争の攻撃目標は相手の国家の社会契約、つまり憲法原理である。朝鮮戦争、フォークランド紛争、テロとの戦い等を取り上げ、近現代史における戦争のダイナミックな質の変容を、法の視点から浮き彫りにする。

朝日新聞 2022/06/11

2020:7./ 223p
978-4-16-391238-7

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 2 3 8 7 *



依存症と回復、そして資本主義～暴走する社会で<希望のステップ>を踏み続ける～(光文社新書 1201)

中村英代 著

光文社

当事者コミュニティ(薬物依存の回復支援施設「ダルク」、依存症からの回復のための世界規模の共同体「十二ステップ・グループ」)における回復実践を考察。依存症から人間の日々の行動と現代社会の傾向性をとらえなおす。

朝日新聞 2022/06/11

2022:5./ 261p
978-4-334-04610-1

¥968〔税込〕



* 9 7 8 4 3 3 4 0 4 6 1 0 1 *



紛争地のポートレート～「国境なき医師団」看護師が出会った人々～

白川 優子/白川 優子 著

集英社クリエイティブ

暴力が渦巻く場所に生きる市民たち。世界中から集まる医療のエキスパート。活動を支える技術者や支援者…。「国境なき医師団」看護師が、人道援助の現場でめぐり会った人々や紛争地医療のリアルを描く。

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 252p
978-4-420-31094-9

¥1,760〔税込〕



* 9 7 8 4 4 2 0 3 1 0 9 4 9 *



学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか(ちくまプリマー新書 401)

広田 照幸 著

筑摩書房

学校は本質的に退屈であるにもかかわらず、学校や教育は世界を広げてくれる。教育の目的から、学校の役割、道徳教育やAI社会まで、学校教育を広い視野と多様な角度からとらえなおす。

朝日新聞 2022/06/11

2022:5./ 239p
978-4-480-68428-8

¥946〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 6 8 4 2 8 8 *



嘘の木(創元推理文庫 Mハ 27-1)

フランシス・ハーディング 著
東京創元社

不正を疑われ、スキャンダルから逃れるために島に移り住んだ高名な博物学者が謎の死を遂げた。学者の娘フェイスは、嘘を養分に育ち、食べた者に真実を見せる実のなる木を利用して、父の死の真相を暴く決心をする…。

朝日新聞 2022/06/11

2022:5./ 473p
978-4-488-15107-2
¥1,320〔税込〕



核戦争の瀬戸際で

ウィリアム・J.ペリー、松谷 基和 著
東京堂出版

核戦争の危機は、冷戦終結とともに消滅したわけではない。60年代のキューバ危機、90年代の北朝鮮危機に深く関与した元アメリカ国防長官が、安穏と暮らす我々へ警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2022/06/11

2018:1./ 318p
978-4-490-20978-5
¥2,750〔税込〕



武力行使禁止原則の歴史と現状

松井 芳郎 著
日本評論社

武力行使禁止原則の歴史や現段階を明らかにし、個別国家による武力行使、安保理事会が「許可」した武力行使の事例を、国連憲章が規定する武力行使禁止原則を擁護する立場から批判的に検討。また実効性回復のための課題も示す。

朝日新聞 2022/06/11

2018:8./ 14p,434p
978-4-535-52363-0
¥6,380〔税込〕



美徳と悪徳を知る紳士のためのガイドブック(二見文庫 ザ・ミステリ・コレクション リ11-1)

マッケンジー・リー 著
二見書房

伯爵の長男でありながら、酒や煙草、美男美女との戯れに明け暮れるモンティ。爵位を継ぐ前に、密かに想っている親友のパーシーと共に欧州を巡る周遊旅行に出ることに。父親の監視の目を逃れ、ますます派手に遊ぶ彼は…?

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 626p
978-4-576-22041-3
¥1,430〔税込〕



アイヌのビーズ～美と祈りの二万年～

池谷 和信 著
平凡社

2万年前の石の玉から、現代のアイヌ工芸家を作る首飾りまで、北海道におけるビーズ文化に考古、歴史、民俗を中心にして多面的にアプローチ。その持続と変遷をたどり、世界のビーズ文化のなかに位置づける。

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 286p
978-4-582-83896-1
¥3,740〔税込〕





ポスト政治の政治理論～ステークホルダー・デモクラシーを編む～

松尾 隆佑 著
法政大学出版局

現代社会が直面している課題を分析しながら、あるべき民主政治の姿を描出し、その実現の方途を検討。原発や環境問題など争点ごとに利害関係者を定め、持続可能な社会における新たな主体像を模索する。

朝日新聞 2022/06/11

2019:8./ 5p,313p,46p
978-4-588-62541-1

¥5,830〔税込〕



雇用形態間格差の制度分析～ジェンダー視角からの分業と秩序の形成史～(現代社会政策のフロンティア 16)

禿 あや美 著
ミネルヴァ書房

正社員・非正社員の分業と秩序はどう構築・維持され、変容したのか。職務と賃金の序列をめぐる企業内の「公平観」や処遇格差の発生メカニズムを検討し、格差の「合理性」に関するこれまでの議論の枠組みを批判的に検証する。

朝日新聞 2022/06/11

2022:3./ 5p,336p
978-4-623-09396-0

¥7,700〔税込〕



3・11の政治理論～原発避難者支援と汚染廃棄物処理をめぐる～

松尾 隆佑 著
明石書店

東日本大震災で日本政府が講じた一連の政策のうち、避難者の支援と放射性物質に汚染された土壌や廃棄物の処理について、規範的政策分析で検証。政策の改善にあたって政府がとるべき方向性を提示する。主要事項年表なども収録。

朝日新聞 2022/06/11

2022:3./ 285p
978-4-7503-5381-4

¥4,950〔税込〕



中野トク小伝～寺山修司と青森・三沢～

小菅麻起子 著
幻戯書房

なぜ寺山修司は、三沢市の中学教師・中野トクに、75通もの手紙を書き送ったのか。病床にあった<才能>を支えた女性の戦中戦後とは。中野が残した文章を手がかりに、その生涯と同時代の三沢の歴史、寺山との交流を描く。

朝日新聞 2022/06/11

2022:4./ 161p
978-4-86488-245-3

¥2,420〔税込〕



それで君の声はどこにあるんだ?～黒人神学から学んだこと～

榎本 空 著
岩波書店

「この愛は闘いだぞ。わかるか?」 27歳の私はマンハッタンにあるユニオン神学校の門を叩いた。教室にさざめくハレルヤ、仲間たちの叫び…。黒人神学の泰斗、ジェイムズ・H・コーンのもとで学んだ日々を振り返る。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 9p,207p
978-4-00-023745-1

¥2,200〔税込〕





教育と愛国～誰が教室を窒息させるのか～

齊加 尚代、毎日放送映像取材班 著
岩波書店

「教科書採用を中止せよ」 学校に押し寄せる抗議ハガキ。道徳や歴史教育を巡り、現場に圧力がかかっている背景を探る。2017 年度ギャラクシー賞大賞受賞番組に、大阪の教育行政の荒廃など多くの取材成果を盛り込み書籍化。

朝日新聞 2022/06/18

2019:5/ 15p,180p
978-4-00-061343-9

¥1,870 [税込]



マイケル・K(岩波文庫 32-803-1)

J.M.クッツェー 著
岩波書店

内戦の続く南アフリカ。マイケルは手押し車に病気の母親を乗せて、騒乱のケープタウンから内陸の農場をめざす…。国家の運命に翻弄されながら、どこまでも自由に生きようとする個人のすがたを描く。

朝日新聞 2022/06/18

2015:4/ 311p
978-4-00-328031-7

¥924 [税込]



真夜中の子供たち<上>(岩波文庫 37-206-1)

サルマン・ラシュディ 著
岩波書店

1947 年 8 月 15 日、インド独立の日の真夜中に、不思議な能力とともに生まれた子供たち。なかでも 0 時ちょうどに生まれたサリームの運命は、革命、戦争、そして祖国の歴史と分かちがたく結びつき。

朝日新聞 2022/06/18

2020:5/ 537p
978-4-00-372514-6

¥1,320 [税込]



真夜中の子供たち<下>(岩波文庫 37-206-2)

サルマン・ラシュディ 著
岩波書店

ついに露頭した出生の秘密。禁断の愛を抱えつつ、<清浄>の国との境をさまよう<真夜中の子供>サリームは…。稀代のストーリーテラーが紡ぎだす、あまりに魅惑的な物語。

朝日新聞 2022/06/18

2020:6/ 549p
978-4-00-372515-3

¥1,320 [税込]



何が記者を殺すのか～大阪発ドキュメンタリーの現場から～(集英社新書 1110)

齊加 尚代 著
集英社

大阪の地で孤軍奮闘するテレビドキュメンタリストが、「毎日放送」が制作した 4 つのドキュメンタリー番組の取材舞台裏を明かし、いま切迫して感じられる社会が抱える問題と「ドキュメンタリーの可能性」について語る。

朝日新聞 2022/06/18

2022:4/ 302p
978-4-08-721210-5

¥1,034 [税込]





フィンランド幸せのメソッド(集英社新書 1115)

堀内 都喜子 著
集英社

2018年から5年連続で「幸福度ランキング世界一」を達成したフィンランド。子育て支援や教育など、立場を問わず全ての国民が平等に、そして幸福に暮らすことを可能にする、驚きの仕組みの全貌を紹介する。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 249p
978-4-08-721215-0

¥946〔税込〕



断腸亭にちじょう(サンデーうぇぶりコミックス)

ガンブ 著
小学館

39歳、ひねくれ漫画家「ガン闘病」記。 2019年1月。初の単行本重版を迎え上々の日々を過ごす、ひねくれ漫画家・ガンブ。しかし、人生急転。医者に告げられしは...まさかの「大腸ガン」。妻、親族、仕事...ゆれ動く日々の中で、ガンブは沸き上がる感情を「にちじょう」として書き残すようになっていき———これは、四十歳手前の漫画家が記す...徒然なる"ガン闘病"の軌跡である。【編集担当からのおすすめ情報】3年前に「大腸ガン」になった連絡を受けたときは、こうして漫画となる日が来るとは思ってもいませんでした。心から、出来るだけ多くの人に読んでいただきたい作品です。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 146p
978-4-09-851139-6

¥990〔税込〕



エナメル〜その謎は彼女の暇つぶし〜(新潮文庫 nex さ-89-4)

彩藤 アザミ 著
新潮社

メルは、美少女で高飛車な寝たきりの天才探偵。彼女の助手兼彼氏のエナとふたりで、都市伝説や日常の謎を気まぐれに解決していく。一見すれば誰もが認める純愛カップルに思えるが、彼らには絶望的な秘密があって...

朝日新聞 2022/06/18

2022:6./ 357p
978-4-10-180234-3

¥781〔税込〕



ターミナルから荒地へ〜「アメリカ」なき時代のアメリカ文学〜

藤井 光 著
中央公論新社

21世紀の新しいアメリカ文学を知る、刺激的な読書案内。「イシグロで焦り、アメリカを感じる」「大陸横断文学の今昔」「伯父さんと戦争」などのエッセイを収録する。作家・作品紹介および参考文献も掲載。

朝日新聞 2022/06/18

2016:3./ 265p
978-4-12-004833-3

¥2,035〔税込〕





音声学者、娘とことばの不思議に飛び込む〜プリチュワからカピチュウ、おっけーぐるぐるまで〜

川原繁人 著

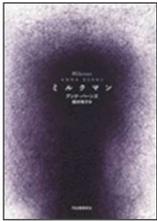
朝日出版社

プリキュアごっこ、ポケモン、しんだ、しまない、しむ…。子どもの言語発達からことばの原理が学べる！言語学が専門の大学教員による、子育てエピソード満載の音声学の入門書。ゴスペラーズ・北山陽一との対談も掲載する。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 276p
978-4-255-01275-9

¥1,925〔税込〕



ミルクマン

アンナ・バーンズ 著

河出書房新社

政治、宗教、暴力で分断された70年代終わりの北アイルランド。ベルファストに住む名前の無い主人公が、18歳のときに「ミルクマン」なる男の目にとまり、つきまとわれて心身ともに壊れそうになる約2か月間の物語。

朝日新聞 2022/06/18

2020:11./ 391p
978-4-309-20813-8

¥3,740〔税込〕



延びすぎた寿命〜健康の歴史と未来〜

ジャン=ダヴィド・ゼトゥン 著

河出書房新社

250年以上前から寿命を延ばし続けてきた人類。しかし、もはやこれ以上の長生きは難しい。寿命の引き延ばしの歴史を振り返りながら、生物学、医学、環境、行動の4つの角度から寿命と健康について検証する。

朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 330p
978-4-309-22853-2

¥3,190〔税込〕



誰にも言わないと言ったけれど〜黒人神学と私〜

James H. Cone 著

新教出版社

黒人解放の神学の泰斗、ジェームズ・H・コーン。過酷な人種差別の経験、黒人神学者としての使命と苦難から、キング牧師やマルコム X、ジェームズ・ポールドウィンら先人への思いまで、その人生の全てを明かす最期の書。

朝日新聞 2022/06/18

2020:3./ 278p
978-4-400-32357-0

¥3,300〔税込〕



プリズム(実業之日本社文庫 ぬ 1-2)

貫井 徳郎 著

実業之日本社

小学校の女性教師が自宅で死体となって発見された。同僚の男性教師が容疑者として浮かび上がり、事件は簡単に解決すると思われたが…。浮かんでは消える容疑者たち。一体誰が犯人なのか？ 死んだ女性教師は何者だったのか？

朝日新聞 2022/06/18

2022:6./ 288p
978-4-408-55733-5

¥792〔税込〕





フリースタイル言語学

川原繁人 著
大和書房

ブリキュア、卑弥呼、子育て、麻雀、メイド喫茶…。ことばを使って遊び尽くせ！ポケモンやラップなどを題材にしたユニークな研究で知られる言語学者が、日常をフリースタイルで言語学的に思考する科学エッセイ。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 351p
978-4-479-39389-4

¥1,980〔税込〕



* 9 7 8 4 4 7 9 3 9 3 8 9 4 *



ヤングケアラーってなんだろう(ちくまプリマー新書 402)

澁谷 智子 著
筑摩書房

家族の世話や家事を行う子どもたちを指すヤングケアラー。ケアを背負わなければならない背景には何があるのか。実態調査や当事者が語る経験を通じて、彼らが置かれた状況や支援の取り組みを明らかにする。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 137p
978-4-480-68424-0

¥836〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 6 8 4 2 4 0 *



囚われの sniper<上>(扶桑社ミステリー ハ 19-40)

スティーヴン・ハンター 著
扶桑社

アラブ人の凄腕テロリストを、息詰まる狙撃戦のすえ打ち倒した退役海兵隊一等軍曹ボブ・リー。NYタイムズにより一躍「英雄」に祀り上げられるが、下院議員シャーロットによって訴追の「標的」に選ばれてしまい…。

朝日新聞 2022/06/18

2022:6./ 294p
978-4-594-09143-9

¥1,045〔税込〕



* 9 7 8 4 5 9 4 0 9 1 4 3 9 *



囚われの sniper<下>(扶桑社ミステリー ハ 19-41)

スティーヴン・ハンター 著
扶桑社

狙撃戦で警察官を死に至らしめて逮捕されたヴァハラ 5 人は、拘留所から脱獄し、ボブ・リーを標的とした公聴会が開催されている講堂へ向かう。凶悪犯に占拠された講堂で、車椅子の老英雄は再び銃を手に立ち上がり…。

朝日新聞 2022/06/18

2022:6./ 303p
978-4-594-09144-6

¥1,045〔税込〕



* 9 7 8 4 5 9 4 0 9 1 4 4 6 *



伝奏と呼ばれた人々～公武交渉人の七百年史～

神田 裕理、日本史史料研究会 著
ミネルヴァ書房

鎌倉時代から江戸時代末期まで、朝廷と武家との関係を支えた「伝奏」とは、一体どのような存在だったのか。天皇・朝廷と武家との交渉の現場を描き出し、公家衆「伝奏」の全貌を明らかにする。

朝日新聞 2022/06/18

2017:12./
12p,259p,2p
978-4-623-08096-0

¥3,080〔税込〕



* 9 7 8 4 6 2 3 0 8 0 9 6 0 *



朝廷の戦国時代～武家と公家の駆け引き～

神田 裕理 著
吉川弘文館

戦国時代、天皇や公家たちはいかなる存在であったか。足利将軍や信長などの天下人が、天皇・公家たちと交渉を繰り返して、互いに利用し合った実態を解明。朝廷の「武家の傀儡」イメージを覆し、天皇・公家の主体性を再評価する。

朝日新聞 2022/06/18

2019:9./ 8p,276p
978-4-642-08360-7

¥2,640 [税込]



オルグ!オルグ!オルグ!～労働組合はいかにしてつくられたか～

本田一成 著
新評論

チェーンストアの発展過程で、労働組合はいかに影響してきたのか。労働組合の組織拡大を目的としたオルガナイザー(オルグ)たちが、チェーンストアの労働者を組織化する過程を明らかにする。

朝日新聞 2022/06/18

2018:3./ 26p,360p
978-4-7948-1088-5

¥3,080 [税込]



ビヨンド!～KDDI労働組合20年の「キセキ」～

本田一成 著
新評論

スマートな労働組合? とんでもない! これまで多くの合併・吸収を繰り返してきた大手電気通信事業者・KDDI。その労働組合員たちのドラマチックな闘いの歴史を描くノンフィクション。見返しに業界変遷図あり。

朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 14p,310p
978-4-7948-1207-0

¥2,640 [税込]



榎太一が聞く 科学の伝え方～Science Communication～

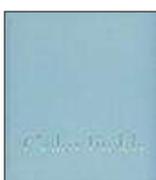
榎 太一 著
東京化学同人

サイエンスコミュニケーションとは何か? どんな解決すべき課題があるのか? 元日本テレビアナウンサー・榎太一と、山中伸弥らサイエンスにかかわる人たちとの対談をまとめる。『現代化学』連載を加筆・再編集し単行本化。

朝日新聞 2022/06/18

2022:5./ 7p,122p
978-4-8079-2036-5

¥1,320 [税込]



カラーフィールド色の海を泳ぐ

torch press

本邦初となるカラーフィールド展覧会の図録。絵画に新たな地平を切り拓いたジャック・ブッシュ、ケネス・ノーランドら9作家による絵画と彫刻47点を厳選紹介する。加治屋健司ほかの論考も収録。折り込みページあり。

朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 192p
978-4-907562-37-3

¥3,800 [税込]



具体と抽象～世界が変わって見える知性のしくみ～

細谷 功 著

トランスビュー

永遠にかみ合わない議論、罵（ののし）り合う人と人。その根底にあるのは「具体＝わかりやすさ」の弊害と、「抽象＝知性」の危機。動物にはない人間の知性を支える頭脳的活動を「具体」と「抽象」という視点から読み解きます。具体的言説と抽象的言説のズレを新進気鋭の漫画家・一秒さんの四コマ漫画で表現しています。

朝日新聞 2022/06/18

2014:11./ 136p
978-4-907623-10-4

¥1,980〔税込〕



言語学者、外の世界へ羽ばたく～ラッパー・声優・歌手とのコラボからプリキ ュア・ポケモン名の分析まで～(リベラルアーツコトバ双書 2)

川原繁人 著

教養検定会議

ポケモン言語学の提唱者である言語学・音声学の専門家が、「言語学は社会に役立つか」という問いに正面から挑み、言語研究の地平を広げた成果。ウェブサイト連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 8p,167p
978-4-910292-02-1

¥1,100〔税込〕



皮膚、人間のすべてを語る～万能の臓器と巡る 10 章～

モンティ・ライマン 著

みすず書房

人間の皮膚で幸せに暮らすダニやマイクロバイーム、皮膚に刻んだタトゥーの意味…。科学や医学から、社会学、心理学、歴史までを含む広大な皮膚の世界を巡り、皮膚の本質に迫る。2019年英国王立協会科学図書賞候補作品。

朝日新聞 2022/06/18、日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 1p,270p,34p
978-4-622-09092-2

¥3,520〔税込〕



職業としての官僚(岩波新書 新赤版 1927)

嶋田 博子 著

岩波書店

職業としての官僚が国民や政治に対して担うべき役割、あるべき官僚像に近づける方途を、政官関係の歴史の変遷、各国比較などを交えながら考察。メディアでのバッシングに満足せず、我が事として官僚を見つめる必要を説く。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./
18p,246p,20p
978-4-00-431927-6

¥1,034〔税込〕



日本史サイエンス<2> 邪馬台国、秀吉の朝鮮出兵、日本海海戦の謎を解く(ブ ルーバックス B-2200)

播田 安弘 著

講談社

邪馬台国の女王・卑弥呼はどこにいた？ 豊臣秀吉の朝鮮出兵が成功しなかったのは李舜臣が率いる亀甲船に水軍が敗れたから？ 日本海海戦で日本がロシアに完勝した真因は？ エンジニアが「数字」を駆使して日本史の謎に迫る。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 236p
978-4-06-528082-9

¥1,100〔税込〕





スネークダンス

佐藤 まどか 著
小学館

芸術の町ローマで生まれた主人は、父親が亡くなったことを機に母と日本に帰国する。東京の町をスケッチしていたある日、主人はスプレー缶を持ちダイナミックに落書きをしている風変わりな少女と出会い…。

朝日新聞 2022/06/25

2022:3./ 252p
978-4-09-289316-0

¥1,540〔税込〕



マイホーム山谷

末並 俊司 著
小学館

東京・山谷にあるホームレスの人のためのホスピス施設「きぼうのいえ」。創設者で施設長だった山本雅基は、現在解任され介護を<受ける側>に。ドヤ街で「理想のケア」を追い求めた男の栄光と挫折を記したノンフィクション。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 245p
978-4-09-388857-8

¥1,650〔税込〕



焰(新潮文庫 ほ-15-3)

星野 智幸 著
新潮社

近隣諸国と武力衝突の危険性が高まるなか、奇妙な踊りに取りつかれる「ピンク」。突然泣き出す不思議な病が大流行する「眼魚」…。謎の災いから生き残った者たちが、祈りや驚嘆、希望を込めて語る 9つの物語。

朝日新聞 2022/06/25

2022:6./ 323p
978-4-10-116453-3

¥693〔税込〕



江藤淳は甦える

平山 周吉 著
新潮社

「平成」の空妄を予言し、現代文明を根底から疑った批評家・江藤淳。「成熟と喪失」「海は甦える」など、常に文壇の第一線で闘い続けた軌跡を、徹底的な取材により解き明かす。没後 20年、自死の当日に会った著者による評伝。

朝日新聞 2022/06/25

2019:4./ 783p
978-4-10-352471-7

¥4,070〔税込〕



昭和天皇「よもの海」の謎(新潮選書)

平山 周吉 著
新潮社

昭和 16年 9月、御前会議に於いて、昭和天皇は、祖父・明治天皇の和歌を読みあげ、日米開戦を避けよと意思表示した。それなのに、日米開戦への道は止まらなかった。昭和史を動かした、和歌の解釈を巡る闘いに迫る。

朝日新聞 2022/06/25

2014:4./ 303p
978-4-10-603745-0

¥1,540〔税込〕





研究不正～科学者の捏造、改竄、盗用～(中公新書 2373)

黒木 登志夫 著
中央公論新社

科学者たちが不正に手を染めた背景には、様々なドラマが隠されている。研究不正はなぜ起こり、彼らはいかなる結末を迎えたか。欧米や日本、中韓などを揺るがした不正事例をとりあげながら、科学のあるべき未来を提言する。

朝日新聞 2022/06/25

2016:4./ 6p,302p
978-4-12-102373-5

¥968〔税込〕



変異ウイルスとの闘い～コロナ治療薬とワクチン～(中公新書 2698)

黒木 登志夫 著
中央公論新社

比類なきスピードで開発された mRNA ワクチン、変異株のゲノム解析、全症状に対応する治療薬。コロナ禍「終幕」へのシナリオは着々と描かれている。最新の研究成果を一望し、コロナ危機からの出口戦略を探る。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 9p,279p
978-4-12-102698-9

¥1,034〔税込〕



生き物が老いるということ～死と長寿の進化論～(中公新書ラクレ 765)

稲垣 栄洋 著
中央公論新社

老いは生物が進化の歴史の中で磨いてきた戦略。次世代へと命をつなぎながら、体は老いていく。人類は助け合い、年寄りの知恵を活かすことにより「長生き」を手に入れたのだ。老化という最強戦略の秘密に迫る。

朝日新聞 2022/06/25

2022:6./ 213p
978-4-12-150765-5

¥902〔税込〕



死刑にいたる病(ハヤカワ文庫 JA 1300)

櫛木 理宇 著
早川書房

鬱屈した日々を送る大学生の雅也は、世間を震撼させた連続殺人犯・榛村大和から「唯一の冤罪」の証明を託される。1つ1つの選択が明らかにしていく残酷な真実とは？ 俊英が描く鮮烈なミステリ。

朝日新聞 2022/06/25

2017:10./ 363p
978-4-15-031300-5

¥814〔税込〕



デフ・ヴォイス～法廷の手話通訳士～(文春文庫 ま 34-1)

丸山 正樹 著
文藝春秋

結婚に失敗し、職場でも挫折した荒井は、生活の為に手話通訳士となった。ある日、荒井は刑事事件に問われたろう者の法廷通訳を引き受け、そこで運命の女性・手塚瑠美に出会うが...

朝日新聞 2022/06/25

2015:8./ 311p
978-4-16-790420-3

¥770〔税込〕





傑作はまだ(文春文庫 せ 8-4)

瀬尾 まいこ 著
文藝春秋

50歳の引きこもり作家の前に突然現れた初対面の息子。孤独に慣れ切った世間知らずな父と、近所付き合いも完璧にこなす25歳の息子の同居生活の行方は…。父と子の再生の物語。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 223p
978-4-16-791871-2
¥715〔税込〕



生命式(河出文庫 む 4-2)

村田 沙耶香 著
河出書房新社

人口が急激に減り、人類は滅びるのでは、という不安感が世界を支配する時代。死んだ人間を食べながら、男女が受精相手を探す「生命式」が行われ…。表題作をはじめ、著者自身がセレクトした“脳を揺さぶる”全12編を収録。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 295p
978-4-309-41887-2
¥693〔税込〕



た

田島征三 著
佼成出版社

たがやす、たねまく、たくましくそだつ。たすけあう、たたえあう、そしてたのしむ！古来より稲作を中心とした農耕によって命をつないできた日本人。連綿と続く営みとその精神を、「た」から始まる言葉で描いた絵本。

朝日新聞 2022/06/25

2022:4./ 32p
978-4-333-02871-9
¥1,430〔税込〕



ワンダフル・ライフ

丸山 正樹 著
光文社

事故で重度の障害を負った妻を自宅で介護する「わたし」。なんのために、こんな生活が続いているのか…。「わたし」の物語と、さまざまな悩みを抱える男女の物語が絡み合い、繋がる時、慟哭の真実が明かされる。

朝日新聞 2022/06/25

2021:1./ 316p
978-4-334-91384-7
¥1,870〔税込〕



帝国の写真師 小川一眞

岡塚章子 著
国書刊行会

写真師としてただ一人、帝室技芸員を拝命した小川一眞。明治から大正という「変容する帝国」を撮影しつづけ、近代日本の視覚文化の形成に大きな影響を与えた、未だ知られざる写真メディアの体現者の生涯と事績を明らかにする。

朝日新聞 2022/06/25

2022:4./ 493p,7p
978-4-336-07326-6
¥8,800〔税込〕





ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた30のこと

五十嵐 大 著
幻冬舎

聴こえない親と聴こえる子どもとの間に、どんな出来事が起きうるのか。耳の聴こえない親に育てられた子ども“コーダ”である著者が、母との格闘の日々を綴る。『ハフポスト』掲載に加筆修正、書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2022/06/25

2021:2./ 211p
978-4-344-03738-0

¥1,540〔税込〕



絵画は眼でなく脳で見る～神経科学による実験美術史～

小佐野重利 著
みすず書房

人間の視覚および記憶の生物学的しくみには普遍性がある。美術作品に肉薄する方法を、美術と科学あるいは科学画像との親密性から説き起こし、分析化学、ひいてはニューロサイエンスとの協働という観点から解き明かす。

朝日新聞 2022/06/25

2022:4./ 155p,13p
978-4-622-09080-9

¥5,280〔税込〕



現代官僚制の解剖～意識調査から見た省庁再編20年後の行政～

北村 亘/北村 亘 編
有斐閣

政治主導の強化の中で、現代日本の官僚たちは、日常業務や組織運営、政治や政策課題に対してどのような認識を抱いているのか。約20年ぶりに実施された包括的な官僚意識調査から多面的に分析する。

朝日新聞 2022/06/25

2022:3./ 13p,228p
978-4-641-14940-3

¥4,180〔税込〕



きりんのまいにち(飛ぶ教室の本)

二宮由紀子 著
光村図書出版

きりんは、かくれんぼがとても好きだ。ほかのどうぶつとすると負けるので、たいていは自分ひとりです...。きりと、きりんのことが大好きな仲間たちの、やわらかな日々を描いた15のお話を収録。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 64p
978-4-8138-0381-2

¥1,650〔税込〕



ヤングケアラーわたしの語り～子どもや若者が経験した家族のケア・介護～

澁谷 智子/宮崎 成悟/高橋 唯 著
生活書院

わたし、かわいそうですか？ ケアが必要な家族の世話をしている18歳未満の子ども、ヤングケアラー7人が、ケアの経験が自分にとってどういうものであったのかを綴る。テキストデータ引換券付き。

朝日新聞 2022/06/25

2020:11./ 211p
978-4-86500-118-1

¥1,650〔税込〕





きらめく拍手の音～手で話す人々とともに生きる～

イギル・ボラ 著
リトル・モア

音の聞こえないろう者の両親のもとに生まれた、聞こえる子=コーダ。映画監督、作家で、「コーダ」である著者が、ろう者と聴者、2つの世界を行き来しながら生きる葛藤とよろこびを、巧みな筆致で綴る。

朝日新聞 2022/06/25

2020:12./ 285p
978-4-89815-532-5
¥1,980〔税込〕



日本手話とろう文化～ろう者はストレンジャー～

木村 晴美 著
生活書院

NHK手話ニュースのキャスターにして、「ろう文化宣言」の中心人物、木村晴美さんの人気メルマガが一冊の本に。日本語対应手話ではだめな理由や、ろうの子どもたちへの日本手話での教育の保障などについて語る。

朝日新聞 2022/06/25

2007:4./ 291p
978-4-903690-07-0
¥1,980〔税込〕



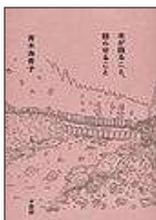
彼岸の図書館～ぼくたちの「移住」のかたち～

青木 真兵、青木 海青子 著
夕書房

命からがらたどり着いた移住先、奈良県東吉野村でぼくたちが始めたのは、自宅を図書館として開くことだった。12の対話とエッセイで綴る、「人文系私設図書館ルチャ・リプロ」という「実験」のはじまりとこれから。

朝日新聞 2022/06/25

2019:10./ 284p
978-4-909179-04-3
¥2,200〔税込〕



本が語ること、語らせること

青木海青子／青木真兵 著
夕書房

「人文系私設図書館ルチャ・リプロ」の司書・青木海青子が、ルチャ・リプロでの6年間で感じてきたことを綴ったエッセイと、夫でキュレーターの青木真兵とともに人々の悩みに答えた記録を収録する。

朝日新聞 2022/06/25

2022:5./ 180p
978-4-909179-08-1
¥1,870〔税込〕



彼女が知らない隣人たち

あさの あつこ 著
KADOKAWA

地方都市で暮らす咏子は、パートとして働きながら家族とともに平凡な毎日を送っていた。だが連続爆発事件が発生し、今まで気にも留めなかった周囲の異変に気がついていく…。『しんぶん赤旗』日曜版掲載を加筆修正の上、改題。

東京・中日新聞 2022/06/05

2022:3./ 261p
978-4-04-112157-3
¥1,760〔税込〕





さよなら、野口健

小林 元喜 著

集英社インターナショナル

野口健はモンスターか、善意の活動家か？ 小池百合子ら政治家との関係、清掃登山の真意など、彼の元マネージャーが、訣別を覚悟して「アルピニスト」の素顔を描く。

東京・中日新聞 2022/06/05

2022:3./ 331p
978-4-7976-7407-1

¥2,090〔税込〕



踊る女と八重桃の花

長谷川 春子 著

共和国/editorial republica

女性洋画家の先駆けとして、『女人芸術』、フランス遊学、従軍体験、そして戦後を生き抜いた長谷川春子の、初期のエッセイと戯画/1 コマ漫画を精選集成。図版も多数収録する。

東京・中日新聞 2022/06/05

2022:4./ 253p 図版

16p

978-4-907986-88-9

¥2,750〔税込〕



橋川文三とその浪漫

杉田 俊介 著

河出書房新社

近代の瓦礫をかき分け続けた思想家・橋川文三が、泥まみれの悪戦苦闘によって見つめたものとは何だったのか？ 保田與重郎、丸山眞男、柳田国男、三島由紀夫との対決を通じ、その思想の生成と核心に迫る。

東京・中日新聞 2022/06/05、毎日新聞 2022/06/11

2022:4./ 487p,14p
978-4-309-23115-0

¥4,290〔税込〕



天皇・コロナ・ポピュリズム～昭和史から見る現代日本～(ちくま新書 1648)

筒井 清忠、筒井 清忠 著

筑摩書房

議会制民主主義への懐疑、天皇をシンボルとしたポピュリズム…。昭和の戦争へ向かった時代に酷似している現代日本について、戦前のポピュリズムの過ちを教訓に考察する。『中央公論』等掲載をもとに書籍化。

東京・中日新聞 2022/06/12

2022:4./ 220p
978-4-480-07477-5

¥880〔税込〕



谷川健一と谷川雁～精神の空洞化に抗して～

前田速夫 著

富山房インターナショナル

民俗学者、歌人、安易な地名変更に反対した兄・健一。詩人、思想家、安保闘争の指導者として名を馳せた弟・雁。お仕着せの民主主義に抗したふたりは、何を思い、何と格闘したのか。最後の戦中派がたどった戦後 70 年の軌跡。

東京・中日新聞 2022/06/12

2022:4./ 372p
978-4-86600-107-4

¥3,080〔税込〕





妻はサバイバー

永田豊隆 著
朝日新聞出版

妻に異変が起きたのは、結婚4年目、彼女が29歳の時だった。精神疾患を抱えた妻の介護と仕事、その両立に悩み続けた20年近くにわたる日々を綴るルポルタージュ。『朝日新聞デジタル』他掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2022/06/19

2022:4./ 141p
978-4-02-251819-4

¥1,540〔税込〕



* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 8 1 9 4 *



原郷の森

横尾 忠則 著
文藝春秋

原郷とは、人間の魂の古里みたいな場所であり、時間。そこでは、なんでも起こりうる。ダ・ビンチ、ピカソ、北斎、三島、黒澤ら、芸術家たちが時空を超えて語り合う、異色の芸術小説。『文學界』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2022/06/19

2022:3./ 512p
978-4-16-391520-3

¥4,180〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 5 2 0 3 *



沖縄のことを聞かせてください

宮沢和史 著
双葉社

沖縄戦の鎮魂歌「島唄」から30年-。「島唄」を制作・発表した音楽家・宮沢和史が、自身の沖縄への思いを綴り、具志堅用高、又吉直樹などそれぞれの「沖縄」を生きる10人と対話する。

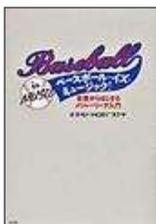
東京・中日新聞 2022/06/19

2022:4./ 492p
978-4-575-31714-5

¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 5 7 5 3 1 7 1 4 5 *



ベースボール・イズ・ミュージック!〜音楽からはじまるメジャーリーグ入門〜

オカモト“MOBY”タクヤ 著
左右社

ミュージシャンでメジャーリーグベースボール解説者である著者が、新しいベースボールの楽しみ方を紹介。大谷翔平ほかメジャーリーガーの入場曲から野球好きミュージシャンの逸話まで、音楽との繋がりを幅広く解説する。

東京・中日新聞 2022/06/19

2022:4./ 325p
978-4-86528-080-7

¥2,530〔税込〕



* 9 7 8 4 8 6 5 2 8 0 8 0 7 *



老いを愛づる〜生命誌からのメッセージ〜(中公新書ラクレ 759)

中村 桂子 著
中央公論新社

白髪を染めるのをやめてみた。庭掃除もほどほどに。大谷翔平君や藤井聡太君にときめく。自然体で暮らせば、年をとるのも悪くない-。老い方上手な先達の言葉から、次世代への「いのちのバトン」のつなぎ方を学ぶ。

東京・中日新聞 2022/06/26

2022:3./ 203p
978-4-12-150759-4

¥902〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 7 5 9 4 *



カレーの時間

寺地 はるな 著
実業之日本社

ゴミ屋敷のような家で祖父・義景と暮らすことになった孫息子・桐矢。カレーを囲む時間だけは打ち解ける祖父が、半世紀の間、抱えてきた秘密とは-。終戦後と現在、ふたつの時代を「カレー」がつなぐ絶品“からうま”長編小説。

東京・中日新聞 2022/06/26

2022:6./ 296p
978-4-408-53806-8

¥1,760〔税込〕



パンデミック監視社会(ちくま新書 1639)

デイヴィッド・ライアン 著
筑摩書房

監視技術が広範に活用され、監視によるデータ収集や人々の行動追跡・制御がスムーズに受け入れられたパンデミック。「コロナ前」に戻ることは可能か。監視研究の世界的権威が、新型コロナウイルスがもたらした真の脅威に迫る。

東京・中日新聞 2022/06/26

2022:3./ 249p
978-4-480-07468-3

¥924〔税込〕



汀日記~若手はなしかの思索ノート~

林家彦三 著
書肆侃侃房

コロナ禍に<ニツ目>となった。ぽっかりと空いた時間に、ぼつりぼつりと紡いだ言葉。これは、ほんのひとつときの雨宿りの時間なのかもしれない。若手作家が、2020年4月~2021年5月の日々を綴った日記文学的思索集。

東京・中日新聞 2022/06/26

2022:5./ 254p
978-4-86385-518-2

¥1,650〔税込〕



ほんとうのリーダーのみつめかた 増補版(岩波現代文庫 文芸 343)

梨木 香歩 著
岩波書店

みんなと同じでなくてはいけないという圧力が強くなっているなかで、いちばん耳を傾けるべき存在とは。困難な時代を生き延びるために、今考えたいことをまとめる。村ぐるみの選挙不正を告発した少女をめぐるエッセイを増補。

読売新聞 2022/06/05

2022:5./ 9p,106p
978-4-00-602343-0

¥880〔税込〕



ノルウェイの森<上>(講談社文庫)

村上 春樹 著
講談社

限りない喪失と再生を描く究極の恋愛小説！ 暗く重たい雨雲をくぐり抜け、飛行機がハンプルク空港に着陸すると、天井のスピーカーから小さな音でビートルズの『ノルウェイの森』が流れ出した。僕は1969年、もうすぐ20歳になろうとする秋のできごとを思い出し、激しく混乱し、動揺していた。限りない喪失と再生を描き新境地を拓いた長編小説。

読売新聞 2022/06/05

2004:9./ 302p
978-4-06-274868-1

¥682〔税込〕





ノルウェイの森<下>(講談社文庫)

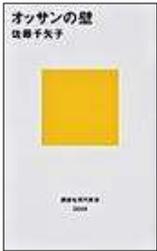
村上 春樹 著
講談社

激しくて、物静かで哀しい、100パーセントの恋愛小説！ あらゆる物事を深刻に考えすぎないようにすること、あらゆる物事と自分の間にしかるべき距離を置くこと——。あたらしい僕の大学生生活はこうしてはじまった。自殺した親友キズキ、その恋人の直子、同じ学部の緑。等身大の人物を登場させ、心の震えや感動、そして哀しみを淡々とせつないまでに描いた作品。

読売新聞 2022/06/05

2004.9./ 293p
978-4-06-274869-8

¥682〔税込〕



オッサンの壁(講談社現代新書 2658)

佐藤 千矢子 著
講談社

なぜ、永田町と政治メディアにオッサンが多いのか？ 幾多の壁に直面してきた全国紙初の女性政治部長が、「日本一のオッサン村」永田町・政治メディアの実態を明かす。男性優位主義の本丸で考えた、日本社会への処方箋。

読売新聞 2022/06/05

2022.4./ 234p
978-4-06-527753-9

¥990〔税込〕



事故物件、いかがですか？～東京ロンダリング～(集英社文庫 は40-3)

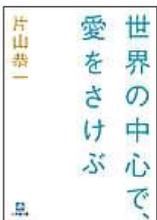
原田 ひ香 著
集英社

自殺や殺人事件があった、いわくつきの物件に一時的に住む「影」、部屋を紹介する相場不動産、姿を消した人を探す会社「失踪ドットコム」。都会のすき間に根ざすルームロンダリングにまつわる様々な人間模様を描く8つの物語。

読売新聞 2022/06/05

2022.5./ 372p
978-4-08-744384-4

¥880〔税込〕



世界の中心で、愛をさけぶ(小学館文庫)

片山 恭一 著
小学館

日本中を涙させた大ベストセラー文庫化！高校2年生の朔太郎と、恋人のアキ。アキの死から、物語は始まる。ふたりの出会い、無人島への旅、そしてアキの発病、入院……。最愛の人を失うとは、どういうことなのか。日本中を涙させたラブストーリー。文庫化。

読売新聞 2022/06/05

2006.7./ 236p
978-4-09-408097-1

¥544〔税込〕





海炭市叙景(小学館文庫)

佐藤 泰志 著

小学館

北の町に暮らす人々を描く悲運の作家の遺作 「海炭市叙景」は、90年に自死を遂げた作家、佐藤泰志（1949-90）の遺作となった短編連作です。海に囲まれた北の町、「海炭市」（佐藤の故郷である函館市がモデルです）に暮らすさまざまな人々の日常を淡々と描き、落ち着いた筆致の底から、「普通の人々」の悲しみと喜び、絶望と希望があざやかに浮かび上がってきます。この作品が執筆された当時はいわゆる「バブル」時代でしたが、地方都市の経済的逼迫はすでに始まっていました。20年の歳月を経て、佐藤泰志が描いたこの作品内の状況は、よりリアルに私たちに迫ってくると言えます。 函館市民たちが主導した映画（熊切和嘉監督・加瀬亮、谷村美月、小林薫、南果歩などが出演）の公開は2010年12月の予定。映画化をきっかけに、心ある読者に愛されてきた幻の名作が、ついに文庫となって登場します。 【編集担当からのおすすめ情報】 映画「海炭市叙景」は、東京国際映画祭コンペティション出品作です。12月18日から渋谷ユーロスペース・横浜ジャック&ベティ、川崎アートセンター他で上映予定。以後、全国数十館でも上映の予定です。 *12月にフィリピンで開催された第12回シネマニラ国際映画祭で、グランプリと最優秀俳優賞（アンサンブル・キャスト）をダブル受賞しました！ *「本の雑誌」増刊「文庫王国 2010-2011」誌上で、「本の雑誌が選ぶ2010年度文庫ベストテン」3位に選ばれました！

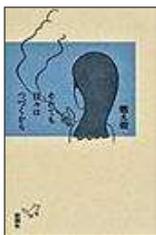
2010:10./ 315p
978-4-09-408556-3

¥770〔税込〕



* 9 7 8 4 0 9 4 0 8 5 5 6 3 *

読売新聞 2022/06/05



それでも日々はつづくから

燃え殻 著

新潮社

これはもうズルズルと行けるところまで、やってみるしかない…。 「プロドタキャン」「まーまー好きだった人」などのエッセイのほか、コラムとマンガも収録。『週刊新潮』掲載に加筆修正し書き下ろしを加え単行本化。

2022:4./ 189p
978-4-10-351013-0

¥1,595〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 3 5 1 0 1 3 0 *

読売新聞 2022/06/05



日本アニメ史〜手塚治虫、宮崎駿、庵野秀明、新海誠らの100年〜(中公新書 2694)

津堅 信之／津堅 信之 著

中央公論新社

今や日本を代表するポップカルチャーとなったアニメ。1917年の国産第1作、「鉄腕アトム」や「風の谷のナウシカ」、「新世紀エヴァンゲリオン」など、画期となった名作を取り上げ、その歴史と現在を描く。

2022:4./ 3p,304p
978-4-12-102694-1

¥1,034〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 9 4 1 *

読売新聞 2022/06/05



若冲の世紀～十八世紀日本絵画史研究～

佐藤 康宏 著
東京大学出版会

伊藤若冲の画業を中心に、江戸時代中期の京都・大坂・江戸の絵画と版画を論じる。重要な作家と作品に焦点を絞り、具体例の分析を通じて、個々の画家たちに共通する表現の傾向や画家どうしが相互に刺激を与えた実態を析出する。

読売新聞 2022/06/05

2022:3/
13p,793p,15p
978-4-13-080227-7
¥14,300〔税込〕



名探偵と海の悪魔

スチュアート・タートン 著
文藝春秋

17世紀。バタヴィアからオランダへ向かう帆船で起こる怪事件。だが名探偵は罪人として護送される途上で牢にいる。元兵士の助手アレントは、頭脳明晰なバタヴィア総督夫人サラとともに捜査を開始するも、密室で殺人が!

読売新聞 2022/06/05

2022:2/ 439p
978-4-16-391507-4
¥2,750〔税込〕



そのみにて光輝く(河出文庫 さ 24-1)

佐藤 泰志 著
河出書房新社

にがさと痛みと彼の方に生の輝きをみつめつづけながら生き急いだ作家・佐藤泰志がのこした唯一の長篇小説にして代表作。青春の夢と残酷を結晶させた伝説的名作が二十年をへて甦る。映画化。

読売新聞 2022/06/05

2011:4/ 246p
978-4-309-41073-9
¥715〔税込〕



中庸民主主義～ミーノクラシーの政治思想～(筑摩選書 0228)

崔 相龍 著
筑摩書房

元駐日韓国大使の政治学者が、儒学とギリシア哲学に共通する中庸の政治哲学を現代に活かすべく「中庸民主主義」を提唱。分断の進む世界を変革する方策を考察する。

読売新聞 2022/06/05

2022:3/ 219p
978-4-480-01747-5
¥1,760〔税込〕



図書館島(創元推理文庫 F サ 2-1)

ソフィア・サマター 著
東京創元社

文字を持たぬ辺境の島に生まれ、異国の師の導きで書物に耽溺し、憧れの帝都に旅立った青年。不治の病の娘と出会ったことで彼の運命は一変し、膨大な書物を収めた図書館がそびえる島に幽閉されるが...

読売新聞 2022/06/05

2022:5/ 534p
978-4-488-55604-4
¥1,430〔税込〕



わかりあえない他者と生きる～差異と分断を乗り越える哲学～(PHP新書 世界の知性シリーズ 1302)

大野 和基 編
マルクス・ガブリエル 著
P H P 研究所

「新しい実在論」を提唱する哲学者が、新しい実在論から見た他者とはいかなる存在なのか、他者とともに我々はどう生きるべきなのかを語り、現代に生きる我々の「アイデンティティ」「家族」などの課題への解決策も提示する。

読売新聞 2022/06/05

2022:3./ 196p
978-4-569-85157-0
¥1,122〔税込〕



仕事から見た「2020年」～結局、働き方は変わらなかったのか?～

玄田 有史/萩原 牧子 編
慶應義塾大学出版会

地球規模で席卷したコロナ・パンデミックは、人々の暮らしと働き方に大きな影響を与えた。全国調査のデータを用いて働き方の変容などを多角的に分析し、わが国の労働市場にはどんな構造変化が起きたのかを検証する。

読売新聞 2022/06/05

2022:3./ 14p,262p
978-4-7664-2806-3
¥1,980〔税込〕



天使突抜おぼえ帖

通崎 睦美/通崎 睦美 著
集英社インターナショナル

お仏花はうちに回ってきてくださる「白川女」から買っていた。そんな京都の風物も見られなくなり…。京都に実在する「天使突抜1丁目」に暮らす中で、聞いたこと、体験したこと、さまざまな人たちとの出会いと別れを綴る。

読売新聞 2022/06/05

2022:4./ 379p
978-4-7976-7410-1
¥2,200〔税込〕



大人のソロキャンプ入門(SB新書 577)

ヒロシ 著
S Bクリエイティブ

ソロキャンプは「圧倒的自由」が得られる趣味-。道具の選び方・替え方、焚き火の楽しみなど、ソロキャンプの始め方・楽しみ方を日本一有名なソロキャンパー・ヒロシが語り尽くす、ざっくばらんな対話形式の入門書。

読売新聞 2022/06/05

2022:4./ 271p
978-4-8156-1461-4
¥990〔税込〕



異聞本能寺の変～『乙夜之書物』が記す光秀の乱～(史料で読む戦国史 4)

萩原大輔 著
八木書店

信長が殺されたそのとき、光秀は本能寺にいなかった! 戦国時代の著名なエピソードに関する記述を数多く含む「乙夜之書物」の明智光秀に関する記述をひもとき、戦国史の謎に迫る。

読売新聞 2022/06/05

2022:3./ 274p,13p
978-4-8406-2246-2
¥3,080〔税込〕





戦争が町にやってくる

ロマナ・ロマニーシン／アンドリー・レシヴ 著
ブロンズ新社

美しい町・ロンドで、人々は花を育て、鳥や草木に話しかけながら、楽しく暮らして
いました。ところが、ある日突然「戦争」がやってきて…。ウクライナの作家が子ども
たちに向けて描いた平和と戦争の絵本。

読売新聞 2022/06/05

2022:6./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-89309-709-5
¥1,760〔税込〕



ちゃぶ台〜生活者のための総合雑誌〜<9(2022年春/夏号)> 特集:書店、再び共有地

ミシマ社 編
ミシマ社

「書店、再び共有地」を特集。益田ミリの漫画「いつもの今日」、内田健太郎のエッセイ「マルシェのない生活」、高橋久美子×渡邊麻里子の対談「怒られの二人」、滝口悠生の小説「勝手と昼寝」等を収録する。

読売新聞 2022/06/05

2022:5./ 205p
978-4-909394-67-5
¥1,980〔税込〕



スタッフロール

深緑 野分 著
文藝春秋

戦後ハリウッドで奮闘した特殊造形師・マチルダ。現代ロンドンのCGクリエイター、ヴィヴィアン。CGの嵐が吹き荒れるなか、映画に魅せられた2人の魂が時を越えて共鳴し…。『別冊文藝春秋』連載を加筆して単行本化。

読売新聞 2022/06/05、産経新聞 2022/06/12

2022:4./ 469p
978-4-16-391518-0
¥1,870〔税込〕



ベルリンは晴れているか(ちくま文庫 ふ 56-1)

深緑 野分 著
筑摩書房

1945年7月、4カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

読売新聞 2022/06/05、朝日新聞 2022/06/11

2022:3./ 537p
978-4-480-43798-3
¥990〔税込〕



戦場のコックたち(創元推理文庫 M ふ 7-2)

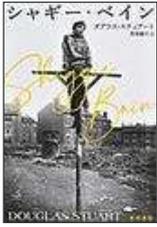
深緑 野分 著
東京創元社

誇り高き料理人だった祖母の影響で、コック兵となった19歳のティム。彼がかげがえのない仲間とともに過ごす、戦いと調理と謎解きの日々を連作形式で描く、青春ミステリ長編。

読売新聞 2022/06/05、朝日新聞 2022/06/11

2019:8./ 542p
978-4-488-45312-1
¥1,078〔税込〕





シャギー・ペイン

ダグラス・スチュアート 著
早川書房

1980年代、不況下の英国グラスゴー。“男らしさ”を求める時代になじめない少年シャギーは、夫に捨てられ酒とともに堕ちていく美しい母アグネスを救おうと必死にもがき…。居場所のない親子の愛を痛切に描く自伝的巨篇。

読売新聞 2022/06/05、日本経済新聞 2022/06/11、朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 609p
978-4-15-210125-9
¥3,850〔税込〕



狂伝佐藤泰志～無垢と修羅～

中澤 雄大／中澤 雄大 著
中央公論新社

ぼくは一夜を生き抜いて朝に入ったのだ。芥川賞候補 5 回、41 歳で自死した作家の全作品と膨大な手紙を読解、「1968 年」からバブル期の文学状況と世相、作家の抱えた修羅に圧巻の取材で肉薄する。

読売新聞 2022/06/05、日本経済新聞 2022/06/25

2022:4./ 607p
978-4-12-005530-0
¥4,180〔税込〕



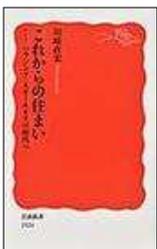
クルト・ヴァイルの世界～実験的オペラからミュージカルへ～

大田 美佐子 著
岩波書店

「三文オペラ」で知られるクラシック音楽の作曲家クルト・ヴァイル。亡命後、アメリカのミュージカル界で活躍するも、「大衆迎合主義」と批判される。没後 70 年を経て再評価が進む「二つのヴァイル」の実像を描出する。

読売新聞 2022/06/12

2022:3./ 8p,465p,21p
978-4-00-022645-5
¥4,840〔税込〕



これからの住まい～ハウジング・スモールネスの時代へ～(岩波新書 新赤版 1924)

川崎 直宏 著
岩波書店

人口減少・超成熟社会に見合った「住」とは？戦後直後から今日までの住宅事情と政策の変遷を読み解き、人口減少社会でさまざまな歪みを生じている現状を指摘。先進事例から、新しい時代に即した住まいのありようを展望する。

読売新聞 2022/06/12

2022:4./ 12p,225p,7p
978-4-00-431924-5
¥968〔税込〕



重耳<上>(講談社文庫)

宮城谷 昌光 著
講談社

読売新聞 2022/06/12

1996:9./ 354p
978-4-06-263323-9
¥737〔税込〕



重耳<中>(講談社文庫)

宮城谷 昌光 著
講談社

読売新聞 2022/06/12

1996:9./ 350p
978-4-06-263324-6
¥770〔税込〕



重耳<下>(講談社文庫)

宮城谷 昌光 著

講談社

読売新聞 2022/06/12

1996:9./ 374p
978-4-06-263325-3

¥770〔税込〕



おいしいごはんが食べられますように

高瀬 隼子 著

講談社

職場でそこそこまくやっている二谷、皆が守りたくなるような存在で料理上手な芦川、仕事ができてがんばり屋の押尾。心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/06/12

2022:3./ 152p
978-4-06-527409-5

¥1,540〔税込〕



攘夷の幕末史(講談社学術文庫 2714)

町田 明広 著

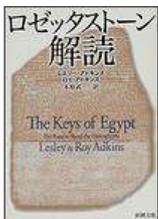
講談社

坂本龍馬も、勝海舟も、みんな「攘夷派」だった-。幕末期に吹き荒れた攘夷の実相とは? 幕末史を貫く対外認識である「攘夷思想」の源流を探り、「尊王攘夷 vs. 公武合体」という従来の構図を捉え直す。

読売新聞 2022/06/12

2022:4./ 216p
978-4-06-527750-8

¥1,012〔税込〕



ロゼッタストーン解説(新潮文庫)

レスリー・アドキンス、ロイ・アドキンス 著

新潮社

読売新聞 2022/06/12

2008:5./ 471p 図版
16p

978-4-10-216831-8

¥869〔税込〕



かれが最後に書いた本

津野 海太郎 著

新潮社

はじめての塾居の日々。友だちは、あっちの世界に仲間入り。でも、本を開けばまた会うことができる-。希代の本読みによる読書案内。『考える人』連載をもとに書籍化。

読売新聞 2022/06/12

2022:3./ 282p
978-4-10-318534-5

¥2,310〔税込〕



あの胸が岬のように遠かった〜河野裕子との青春〜

永田 和宏 著

新潮社

熱く、性急で、誠実でありたくて、傷つけあった-。未公開日記と手紙 300 通から初めて明かされる、歌人夫婦・河野裕子と永田和宏の蒼き愛の物語。『波』連載を改題し単行本化。

読売新聞 2022/06/12

2022:3./ 312p
978-4-10-332642-7

¥1,870〔税込〕





縦横無尽の人間力～宮城谷昌光対談集～

宮城谷 昌光／宮城谷 昌光 著
中央公論新社

人としてどのように生きるか、人の心をどう動かすか-。組織論からビジネスの極意、人の能力や生き方の美しさまで、中国歴史小説の第一人者が、財界人、俳優、版画家らと、歴史から「何をどう学ぶか」を語りあう対談集。

読売新聞 2022/06/12

2022:4./ 259p
978-4-12-005529-4
¥1,870〔税込〕



日本経済成長志向の誤謬

神津 多可思 著
日経BP社

なぜ、この国は「置いていかれた」のか。30年続く「不振感」は、どこから来たのか。マクロよりミクロ、経済の供給面の改革をいまこそ目指すべき-。元日銀マンが、様々なデータをもとに検証し、日本経済の進むべき道を示す。

読売新聞 2022/06/12

2022:4./ 255p
978-4-296-11308-8
¥2,420〔税込〕



琉球の富(ちくま学芸文庫 ヤ22-4)

柳 宗悦 著
筑摩書房

1938年に琉球王国を訪れ、工芸品、建物、人、暮らしぶりの全てが美しい島々に魅了された柳宗悦。沖縄のすばらしさや人々への想いを綴った論考を収録する。失われた風景を記録した貴重な写真も多数掲載。文庫オリジナル。

読売新聞 2022/06/12

2022:5./ 381p
978-4-480-51121-8
¥1,320〔税込〕



銀河英雄伝説<1> 愛蔵版 黎明篇/野望篇

田中 芳樹 著
東京創元社

二大星間国家の運命を賭け智略を尽くして闘う帝国のラインハルトと同盟のヤンとの邂逅を描く「黎明篇」と、同盟でクーデターが勃発し鎮圧を命じられたヤンが苦渋の決断を下す野望篇を収録。星野之宣のカラーイラストも収録。

読売新聞 2022/06/12

2022:5./ 529p
978-4-488-02881-7
¥4,400〔税込〕



リバタリアンが社会実験してみた町の話～自由至上主義者のユートピアは実現できたのか～

マシュー・ホンゴルトツ・ヘトリング 著
原書房

ニューハンプシャー州の田舎町に集団で移住してきたリバタリアン(自由至上主義者)が、理想の町をつくろうとした-。米国で存在感を増すリバタリアンたちの思想と暴走を、没入型取材で描き出したノンフィクション。

読売新聞 2022/06/12

2022:2./ 381p
978-4-562-07155-5
¥2,640〔税込〕





小説の読み方(PHP 文芸文庫 ひ 12-2)

平野 啓一郎 著

P H P 研究所

P・オースター「幽霊たち」、綿矢りさ「蹴りたい背中」など、現代の純文学、ミステリー、古典などを、より深く楽しく味わうコツをわかりやすく解説する。自著「本心」と「罪と罰」の解説を加えて文庫化。

読売新聞 2022/06/12

2022:5./ 313p
978-4-569-90219-7

¥946〔税込〕



異民族ファラオたちの古代エジプト～第三中間期と末期王朝時代～(MINERVA 西洋史ライブラリー 117)

大城 道則 著

ミネルヴァ書房

従来、古代エジプト史の中で社会的混乱期とされてきた新王国時代後の中間期、特に第三中間期の位置づけについて検討。多様性あふれる時代がいかに創造されたかを明らかにする。

読売新聞 2022/06/12

2022:2./ 6p,218p,71p
978-4-623-09347-2

¥7,700〔税込〕



古代エジプト全史

河合 望 著

雄山閣

旧石器時代から、紀元後4世紀にキリスト教が普及した時代までのエジプトの歴史を、世界の最新研究成果を網羅し、時代順にわかりやすく解説する。読者限定の連動WEBサイトにアクセスできるQRコード付き。

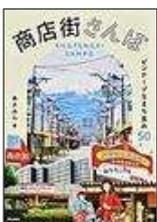
読売新聞 2022/06/12

2021:5./ 10p,295p 図

版 16p

978-4-639-02763-8

¥2,640〔税込〕



商店街さんぽ～ビンテージなまち並み 50～

あさみん 著

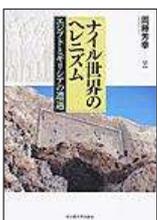
学芸出版社

店先看板の手書き文字、カラフルなアーケード、路地奥に佇む地元の名店…。訪ね歩いた全国各地の商店街から選りすぐりの50を紹介。データ:2022年2月現在。

読売新聞 2022/06/12

2022:4./ 158p
978-4-7615-2813-3

¥2,420〔税込〕



ナイル世界のヘレニズム～エジプトとギリシアの遭遇～

周藤 芳幸 著

名古屋大学出版会

西洋最古のグローバル化の時代であったヘレニズム期、エジプトとギリシアという2つの高文化の交錯は何をもたらしたのか。エジプトでの長期発掘調査をもとに、新たな地中海世界像を提示する。

読売新聞 2022/06/12

2014:11./
12p,367p,56p

978-4-8158-0785-6

¥7,480〔税込〕





東アジア国際通貨と中世日本～宋銭と為替からみた経済史～

井上 正夫／井上 正夫 著

名古屋大学出版会

中国の宋代に鑄造された銅銭「宋銭」。宋銭が国内のみならず、周辺の国々でも流通し、中国大陸で信託を喪失した後もなお一部地域でその命脈を保ったのはなぜか。宋銭が信用貨幣であり、国際通貨であったことなどを論じる。

読売新聞 2022/06/12

2022:2./ 7p,574p
978-4-8158-1061-0

¥8,800〔税込〕



サスペンス小説の書き方～パトリシア・ハイスミスの創作講座～

パトリシア・ハイスミス、坪野 圭介 著

フィルムアート社

サスペンスの女王ハイスミスによる創作指南書。サスペンス小説執筆の重要な要素をプロセスに分け、自身の小説から豊富な実例を示しながら余すところなく説明。物語を書くという営みの本質を伝える。

読売新聞 2022/06/12

2022:2./ 212p
978-4-8459-2113-3

¥2,200〔税込〕



ノー・ルール!～英国における民俗フットボールの歴史と文化～

吉田文久 著

春風社

サッカーやラグビーの起源と称される民俗フットボール。25年の歳月をかけてイングランド・スコットランド各地で調査を行った著者が、民俗フットボールという地域文化の変容を体系化し、その存続の現代的意義を明らかにする。

読売新聞 2022/06/12

2022:3./ 336p,14p
978-4-86110-783-2

¥4,730〔税込〕



映画を早送りで見ると観る人たちは～ファスト映画・ネタバレコンテンツ消費の現在形～(光文社新書 1192)

稲田豊史 著

光文社

つまらないと感じたら後はずっと1.5倍速、会話のないシーンは即飛ばす、観る前にネタバレサイトをチェック…。一体何がそうした映画や映像の視聴スタイルを生んだのか? あまりに巨大すぎる消費社会の実態をあぶり出す。

読売新聞 2022/06/12、毎日新聞 2022/06/25

2022:4./ 302p
978-4-334-04600-2

¥990〔税込〕



人類冬眠計画～生死のはざまに踏み込む～(岩波科学ライブラリー 311)

砂川 玄志郎 著

岩波書店

人は本当に冬眠できるのか? 人工冬眠の実現を目指して日々研究開発に挑む研究者が、自身の体験や想いをふんだんに交えながら、これまでの知見とこれからの可能性をわかりやすく解説する。

読売新聞 2022/06/19

2022:4./ 7p,112p,3p
978-4-00-029711-0

¥1,320〔税込〕





「勤労青年」の教養文化史(岩波新書 新赤版 1832)

福間 良明 著
岩波書店

勤労青年たちが抱いていた「読書や勉学を通じて真実を模索し、人格を磨かなければならない」という価値観は、なぜ広く共有されえたのか。いつ、なぜ消失したのか。地域差やメディアも視野に入れ、複雑な力学を解明する。

読売新聞 2022/06/19

2020:4./ 3p,296p
978-4-00-431832-3

¥990〔税込〕



無職転生～異世界行ったら本気だす～<1>(MF ブックス)

理不尽な孫の手 著
KADOKAWA

事故死した34歳無職の男。目覚めればそこは剣と魔法の異世界。赤ん坊として生まれ変わった彼は、今度こそ後悔なき人生を送ろうと決意する。彼の新たな人生とは!? 『小説家になろう』掲載に加筆して書籍化。

読売新聞 2022/06/19

2014:1./ 312p
978-4-04-066220-6

¥1,320〔税込〕



江戸の宇宙論(集英社新書 1106)

池内 了 著
集英社

日本の天文学のルーツは、江戸期の「天才たち」の功績にまで遡る。現代日本を代表する宇宙物理学者が、江戸時代後期の在野の学者らによる破天荒な活躍を追いつつ、当時の宇宙論の先見性を再評価する。

読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 318p
978-4-08-721206-8

¥1,034〔税込〕



沖縄。人、海、多面体のストーリー(集英社文庫 も 36-1)

森本 浩平 編

大城 立裕／川上 健一／崎山 多美／佐野 真一／椎名 誠／花村 萬月／藤井 誠二／又吉 栄喜／松永 多佳倫／吉田 修一 著

集英社

本土復帰50年。沖縄は様々な角度から綴られてきた。沖縄初の芥川賞作家・大城立裕の作品から、県外作家が沖縄を描いた小説、さらにはノンフィクションまで、ジュンク堂書店那覇店店長が厳選した10編を収録する。

読売新聞 2022/06/19

2022:5./ 367p
978-4-08-744391-2

¥814〔税込〕



八本目の槍(新潮文庫 い-145-1)

今村 翔吾 著
新潮社

秀吉の配下となった8人の若者たち。武勲を上げた7人は「賤ヶ岳の七本槍」とよばれるように。己の望みに正直な男たちは、迷いながらも別々の道を進む。残りのひとり、石田三成は時代に抗い…。

読売新聞 2022/06/19

2022:5./ 527p
978-4-10-103941-1

¥880〔税込〕





すごい神話～現代人のための神話学 53 講～(新潮選書)

沖田 瑞穂 著
新潮社

アニメ「鬼滅の刃」はインドネシア神話と同じ構造を持っている? 「ギルガメシュ叙事詩」から「古事記」まで、古今東西の神話を紹介。現代の映画や漫画、ゲームにまで息づく神話のエッセンスを明らかにする魅惑の 53 講義。

読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 223p
978-4-10-603878-5

¥1,540〔税込〕



全国政治の始動～帝国議会開設後の明治国家～

前田 亮介 著
東京大学出版会

帝国議会の開設により誕生した全国規模の利益調整をおこなう政治システムを「全国政治」と名づけ、国家レベルの脱封建化過程としての全国政治の始動と安定を、近代日本の国民国家形成に不可欠の階梯とする視座を提供する。

読売新聞 2022/06/19

2016:5./ 6p,303p,8p
978-4-13-026243-9

¥5,720〔税込〕



20カ国語ペラペラ～私の外国語学習法～(ちくま文庫 た 97-1)

種田 輝豊 著
筑摩書房

終戦間もない北海道網走での少年時代。ラジオの異国の言葉に胸をときめかせ、独学で英語を磨き、日米交換留学生に。あらゆる方法を駆使し、30歳で20カ国語をマスターした著者が、語学上達のノウハウを惜しみなく伝える。

読売新聞 2022/06/19

2022:5./ 270p
978-4-480-43818-8

¥880〔税込〕



東京ミルクものがたり～東京酪農乳業 史跡を巡るガイドブック～

矢澤好幸/前田浩史/矢澤好幸/前田浩史 著
農山漁村文化協会

近代日本黎明期、東京から始まった日本のミルク文化。その足跡を探访する4コースをはじめ、東京23区酪農乳業史跡めぐり、東京酪農乳業誕生小史などを収録。失われた酪農王国東京を辿るガイドブック。折込みMAPつき。

読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 123p
978-4-540-21181-2

¥1,760〔税込〕



「おくのほそ道」をたどる旅～路線バスと徒歩で行く 1612 キロ～(平凡社新書 999)

下川 裕治 著
平凡社

世界を旅する著者が1日に1時間歩くことを目標に、路線バスを乗り継いで、「おくのほそ道」をたどる旅に出た。両国から船に乗って旅のスタートを切るが、時代や文化・社会も大きく変わったなかで、何を感じ、何を思うのか....。

読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 235p
978-4-582-85999-7

¥968〔税込〕





不条理を乗り越える～希望の哲学～(平凡社新書 1002)

小川 仁志 著
平凡社

パンデミックによってあぶり出された格差、不平等、差別…。そのなかで、自己肯定感を喪失せずに、希望を持って生きることができるのか。この世のあらゆる不条理を乗り越えるための哲学を示す。

読売新聞 2022/06/19

2022:4./ 222p
978-4-582-86002-3
¥924〔税込〕



琉球 OKINAWA～小松健一写真集～

小松健一 著
本の泉社

本土復帰 50 年の沖縄。美しい風土、祈禱、祭祀、食文化、戦争の傷痕、基地反対闘争、そして基地の中の暮らしを 40 年間にわたり見つめ続けた写真家の記録。

読売新聞 2022/06/19

2022:5./ 247p
978-4-7807-1848-5
¥7,000〔税込〕



僕の狂ったフェミ彼女

ミン・ジヒョン 著
イースト・プレス

「普通の」韓国男性が、フェミニストになった初恋の人と再会。ジェンダー・イシューはどのように恋愛の妨げになるのか…。韓国の若者の恋愛、性、愛、結婚に対する葛藤を、主人公「僕」の視点でリアルに描く。

読売新聞 2022/06/19

2022:3./ 335p
978-4-7816-2063-3
¥1,760〔税込〕



女子大で『源氏物語』を読む～古典を自由に読む方法～

木村 朗子 著
青土社

スキャンダルあり、泥沼の愛憎劇あり、浮気や不倫はあたりまえ。そんな宮廷物語を女性目線で読み解く。異色の日本文学者がよみがえらせる、女性による女性のための「源氏物語」。2014 年前期の津田塾大学の講義を書籍化。

読売新聞 2022/06/19

2016:1./ 347p
978-4-7917-6891-2
¥2,420〔税込〕



女子大で和歌をよむ～うたを自由によむ方法～

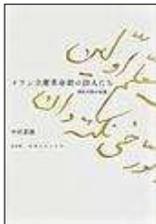
木村朗子 著
青土社

あらゆる気持ちの高ぶりを記した和歌。「源氏物語」「伊勢物語」「和泉式部日記」、さらには現代短歌にも立ち寄りながら、三十一文字の「ことば」が育んできた文化の魅力をあますところなく伝える。津田塾大学の講義を書籍化。

読売新聞 2022/06/19

2022:2./ 443p
978-4-7917-7454-8
¥2,640〔税込〕





イラン立憲革命期の詩人たち～詩的言語の命運～(流動する人文学)

中村 菜穂 著
左右社

19世紀末から20世紀初頭、イラン立憲革命期を生きたペルシア語詩人5人を取り上げ、千年を超えるペルシア詩がいかなるものかを概観しつつ、その生涯と作品を分析する。関連年表、アンソロジー「立憲革命詩集」なども収録。

読売新聞 2022/06/19

2022:5./ 558p,104p
978-4-86528-081-4

¥9,130〔税込〕



転生したらスライムだった件<1>(GC NOVELS)

伏瀬、みつばー 著
マイクロマガジン社

通り魔に刺された三上悟は、ふと気がつくとスライムとして異世界に転生していた。そして、暴風竜ヴェルドラと出会ったことで運命が動き出し…。書き下ろし番外編も収録。『小説家になろう』掲載を加筆し書籍化。

読売新聞 2022/06/19

2014:6./ 306p
978-4-89637-459-9

¥1,100〔税込〕



戦後日本の学知と想像力～<政治学を読み破った>先に～

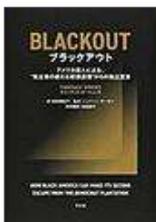
前田 亮介 編
吉田書店

戦後日本における学知と想像力は、「政治」をはじめとする人間世界の秩序をどのように構想し、方向づけたのか。それぞれの多様な展開のありようを、東大駒場「御厨ゼミ」に参加した経歴を持つ若手研究者たちが多彩に論じ合う。

読売新聞 2022/06/19

2022:4./ 431p,5p
978-4-910590-03-5

¥3,520〔税込〕



ブラックアウト～アメリカ黒人による、“民主党の新たな奴隷農場”からの独立宣言～

キャンディス・オーウェンズ 著
方丈社

アメリカの黒人たちよ、現代版の奴隷農場から「脱却せよ」！アメリカ保守系の作家であり政治活動家でもある黒人女性キャンディス・オーウェンズが、民主党による「新たな奴隷制」からの解放を訴える革命の書。

読売新聞 2022/06/19、産経新聞 2022/06/26

2022:4./ 414p
978-4-908925-93-1

¥2,530〔税込〕



アセンブリ～新たな民主主義の編成～

アントニオ・ネグリ／マイケル・ハート 著
岩波書店

社会変革への力を強め、持続的なものにするためには、自由な参加と組織化された運動の両立が求められる。各地で勃興する運動からの呼びかけに応答し、新自由主義と金融からの解放=自由への生成を描き出す。

読売新聞 2022/06/26

2022:2./ 23p,457p,8p
978-4-00-061518-1

¥4,950〔税込〕





葛飾北斎万物絵本大全～大英博物館所蔵未発表版下絵～

ティモシー・クラーク 著

朝日新聞出版

前例のない「世界ビジュアル大百科事典」に挑戦していた葛飾北斎。だが何らかの事情で出版は中止され、精緻な原画だけが残った。大英博物館が所蔵する、未発表の版下絵 103 点を収録。大英博物館開催展覧会の図録の日本語版。

2022:4./ 157p
978-4-02-258713-8

¥4,378〔税込〕



読売新聞 2022/06/26



風の歌を聴け(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

村上春樹のデビュー作 1970 年夏、あの日の風は、ものうく、ほろ苦く通りすぎていった。僕たちの夢は、もう戻りはしない――。群像新人賞を受賞したデビュー作 1970 年の夏、海辺の街に帰省した<僕>は、友人の<鼠>とビールを飲み、介抱した女の子と親しくなって、退屈な時を送る。2 人それぞれの愛の屈託をさりげなく受けとめてやるうちに、<僕>の夏はものうく、ほろ苦く過ぎさっていく。青春の一片を乾いた軽快なタッチで捉えた出色のデビュー作。群像新人賞受賞。

2004:9./ 160p
978-4-06-274870-4

¥594〔税込〕



読売新聞 2022/06/26



哲学の練習問題(講談社学術文庫 2480)

河本 英夫 著

講談社

人は、なぜ自転車に乗れるようになるのだろうか？なぜ逆上がりができるようになるのだろうか？からだに「聴く」から脳に効く！発達をリセットし、新たな能力の形成運動を引き起こす、オートポイエーシスの練習問題を紹介。

2018:4./ 288p
978-4-06-292480-1

¥1,155〔税込〕



読売新聞 2022/06/26



グリーン・マイル<上>(小学館文庫 キ 4-2)

スティーヴン・キング 著

小学館

1932 年、アメリカ南部、コールド・マウンテン刑務所。ここに、双子の少女を強姦殺害した罪で死刑が確定した黒人男性コーフィが送られてくる。看守主任のポールは、コーフィの手が起こした奇跡を目の当たりにして…。

2014:7./ 389p
978-4-09-408898-4

¥891〔税込〕



読売新聞 2022/06/26



グリーン・マイル<下>(小学館文庫 キ 4-3)

スティーヴン・キング 著

小学館

死刑囚コーフィの不思議な力を知った看守主任のポールは、彼の罪状に疑問を抱きはじめる。そんななか刑務所長の妻が脳腫瘍に倒れる。ポールはコーフィを連れ出し、所長の妻の治療をさせるといふ賭けに出た…。

2014:7./ 445p
978-4-09-408899-1

¥913〔税込〕



読売新聞 2022/06/26



職業としての小説家(新潮文庫 む-5-37)

村上 春樹 著
新潮社

「村上春樹」は小説家としてどう歩んできたのか。作家デビューから現在までの軌跡、長編小説の書き方や文章を書き続ける姿勢などを、豊富な具体例とエピソードを交えて語り尽くす。

読売新聞 2022/06/26

2016:10./ 346p
978-4-10-100169-2
¥737〔税込〕



ノモレ(新潮文庫 こ-59-2)

国分 拓 著
新潮社

100年前のアマゾン奥地、入植者が支配するゴム農園から命がけで逃れた先住民がいた。「ノモレ(仲間)を探してくれ」との約束は果たされるのか…。NHKスペシャルが生んだノンフィクション。

読売新聞 2022/06/26

2022:5./ 382p
978-4-10-128192-6
¥737〔税込〕



キャリアー(新潮文庫)

スティーヴン・キング、永井 淳 著
新潮社

読売新聞 2022/06/26

1985:1./ 325p
978-4-10-219304-4
¥781〔税込〕



スタンド・バイ・ミー～恐怖の四季 秋冬編～ 改版(新潮文庫)

スティーヴン・キング、山田 順子 著
新潮社

読売新聞 2022/06/26

2010:9./ 491p
978-4-10-219305-1
¥825〔税込〕



ゴールデンボーイ～恐怖の四季 春夏編～(新潮文庫)

スティーヴン・キング 著
新潮社

読売新聞 2022/06/26

1988:3./ 507p
978-4-10-219312-9
¥990〔税込〕



「歴史の終わり」の後で

マチルデ・ファスティング 編
フランシス・フクヤマ 著
中央公論新社

世界に衝撃を与えたベストセラー「歴史の終わり」刊行から30年。著者のフランシス・フクヤマがマチルデ・ファスティングのインタビューに応え、「自由」と「民主主義」の危機を前に自ら<歴史の終わり>を再考する。

読売新聞 2022/06/26

2022:5./ 341p
978-4-12-005535-5
¥2,530〔税込〕





評伝ナンシー関～心に一人のナンシーを～(中公文庫 よ 64-1)

横田 増生 著
中央公論新社

青森から上京してきた 18 歳の予備校生は、どのようにして、消しゴム版画家にして名コラムニストとなったのか。ナンシー関を知る人たちへのインタビューとともに、稀代のコラムニストの生涯に迫る。

読売新聞 2022/06/26

2022:5/ 398p
978-4-12-207214-5

¥1,100〔税込〕



ペット・セマタリー<上>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著
文芸春秋

競争社会を逃れてメイン州の田舎に越してきた医師一家を襲う怪異。モダン・ホラーの第一人者が“死者のみがえり”のテーマに真っ向から挑んだ、恐ろしくも哀切な家族愛の物語。

読売新聞 2022/06/26

1989:9/ 397p
978-4-16-714803-4

¥880〔税込〕



ペット・セマタリー<下>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著
文芸春秋

読売新聞 2022/06/26

1989:9/ 334p
978-4-16-714804-1

¥847〔税込〕



シャイニング<上>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著
文芸春秋

雪に閉ざされたホテルに棲む悪霊が、管理人一家を襲う。天才キングが圧倒的筆力で描き出す恐怖！ 20 世紀ホラー小説の金字塔

読売新聞 2022/06/26

2008:8/ 421p
978-4-16-770563-3

¥1,034〔税込〕



シャイニング<下>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著
文芸春秋

読売新聞 2022/06/26

2008:8/ 441p
978-4-16-770564-0

¥1,012〔税込〕



ミスト～短編傑作選～(文春文庫 キ 2-54)

スティーヴン・キング 著
文芸春秋

町を覆った奇妙な濃霧。中に踏み入った者は「何か」に襲われる…。映画化、TVドラマ化された名作「霧」ほか、初期短編「ジョウント」「ノーナ」など全 5 編を収録。<恐怖の帝王>スティーヴン・キングの真髄を示す傑作選。

読売新聞 2022/06/26

2018:5/ 360p
978-4-16-791076-1

¥968〔税込〕





呪われた町<上>(文春文庫 キ 2-59)

スティーヴン・キング 著
文藝春秋

荒れ果てた屋敷が丘の頂から見下ろす町に、小説家のベンが帰ってきた。町は平穩に見えたが、ある夜、ベンは丘の上の屋敷に灯が点っているのを見る。そしてある日、幼い少年が忽然と姿を消し…。

読売新聞 2022/06/26

2020:6./ 357p
978-4-16-791518-6
¥1,045〔税込〕



呪われた町<下>(文春文庫 キ 2-60)

スティーヴン・キング 著
文藝春秋

相次ぐ不審な死、そして甦る死者。ベンと仲間たちは丘の上の屋敷に潜む謎に迫るが、忌まわしいものの魔手が彼らに…。静かに降り積もってきた恐怖が、ついに怒濤となって爆発する!

読売新聞 2022/06/26

2020:6./ 376p
978-4-16-791519-3
¥1,045〔税込〕



警察官僚〜0.2%未満のキャリアの生態〜(祥伝社新書 653)

古野まほろ 著
祥伝社

日本の警察官約 26.2 万人のうち、約 500 人しかいない「警察官僚=キャリア」。あまりに少ないがゆえに、警察内部では「珍獣」と呼ばれる彼らの知られざる実態と本音を、元キャリアの作家が明かす。

読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 240p
978-4-396-11653-8
¥968〔税込〕



たまさか人形堂ものがたり(創元推理文庫 M つ 4-4)

津原 泰水 著
東京創元社

かつて祖母が営んでいた零細人形店を継ぐことになったリストラ OL の滯。人形マニアの富永くん、謎の職人・師村さんとともに、人形にまつわる謎を解決し…。ミステリ連作集。書き下ろし短編「回想ジャンクション」も収録する。

読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 253p
978-4-488-46904-7
¥792〔税込〕



沖縄返還と密使・密約外交〜宰相佐藤栄作、最後の一年〜

馬場 錬成 著
日本評論社

沖縄返還への執念から、米国との数々の密約に手を染めた佐藤栄作。政権末期の宰相による「外交の私物化」の全容を、当時の騒然たる社会状況や、沸騰する時代の空気とともに活写した渾身のノンフィクション。

読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 4p,342p,5p
978-4-535-58770-0
¥3,080〔税込〕





海を越えたジャパン・ティー～緑茶の日米交易史と茶商人たち～

ロバート・ヘリヤー 著
原書房

幕末時代、アメリカ人は日本人よりも緑茶を飲んでいた。両国の茶文化の始まりから、長崎のグラバーら茶貿易商と明治維新、京都・静岡・九州の名産地まで、日本人の知らないもうひとつの緑茶の歴史を紹介する。

読売新聞 2022/06/26

2022:3./ 269p,32p
978-4-562-07148-7

¥2,750〔税込〕



業火の市(ハーパーBOOKS M・ウ3・6)

ドン・ウィンズロウ 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

1986年アメリカ東海岸。アイルランド系マフィア・ファミリーの片隅に身を置くダニーは仲間と平穏に暮らしていた。だがある日、共存共栄してきたイタリア系マフィア・ファミリーとの間に諍いが起き、歯車が狂い始め...

読売新聞 2022/06/26

2022:5./ 588p
978-4-596-42927-8

¥1,439〔税込〕



無月の譜

松浦 寿輝 著
毎日新聞出版

戦死した天才駒師が遺した傑作はどこへ？ 棋士の夢破れた青年が、再起をかけてその行方を追う！ 幻の将棋駒をめぐる希望と再生の物語。『毎日新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2022/06/26

2022:3./ 461p
978-4-620-10856-8

¥2,420〔税込〕



ダ・ヴィンチ・システム～来たるべき自然知能のメチエ～(ヒューマンフィードワークス)

河本 英夫 著
学芸みらい社

多彩なテーマでデッサンを描き、詳細な観察記録を膨大に残したダ・ヴィンチ。オートポイエーシス論の牽引者が、いまだ解明されていないダ・ヴィンチの感覚と知の構想を、デッサンと手稿から鮮やかに描き出す。

読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 209p
978-4-909783-97-4

¥2,420〔税込〕



大衆の反逆(岩波文庫 34-231-1)

オルテガ・イ・ガセット 著
岩波書店

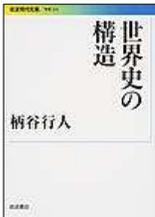
スペインの哲学者による痛烈な同時代批判の書。自らの使命を顧みず、皆と同じであることに満足した大衆は、人間の生や世界をいかに変質させたのか。「フランス人のためのプロローグ」「イギリス人のためのエピローグ」も収録。

日本経済新聞 2022/06/04

2020:4./ 424p,3p
978-4-00-342311-0

¥1,177〔税込〕





世界史の構造(岩波現代文庫)

柄谷 行人 著
岩波書店

この世界を、どう変えるのか。世界史を交換様式の観点から根本的にとらえ直し、人類社会の秘められた次元を浮かび上がらせる。未来に対する想像力と実践の領域を切り開く、著者の思索の到達点。英語版に基づいて改訂。

日本経済新聞 2022/06/04

2015:1./ 23p,543p
978-4-00-600323-4

¥1,540〔税込〕



内部告発のケーススタディから読み解く組織の現実～改正公益通報者保護法で何が変わるのか～

奥山俊宏 著
朝日新聞出版

改正公益通報者保護法が事業者、従業員に与える実質的な影響とは。オリンパス、レオパレス 21 など内部告発のさまざまな事例を辿り、あらゆる事業者が負う義務の内容、それへの違反に対する行政措置、刑事罰を解説する。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4./ 463p
978-4-02-251824-8

¥2,530〔税込〕



怪虫ざんまい～昆虫学者は今日も挙動不審～

小松 貴 著
新潮社

凄絶ホラーな寄生虫、マニア垂涎のカミキリ、碧く輝く希少ゴミムシ、井戸底の絶滅危惧種…。日々虫たちを追いかけて東奔西走している昆虫学者が、近所に棲む超極小、超マニアックな虫の魅力を紹介する。『波』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4./ 254p
978-4-10-351792-4

¥1,650〔税込〕



日本人の承認欲求～テレワークがさらした深層～(新潮新書 947)

太田 肇 著
新潮社

日本でリモート改革が進まない原因は、閉ざされた組織に巣くう特異な「承認欲求」にある。日本人にとって「会社で認められる」意味とは？ 組織研究の第一人者が、日本的「見せびらかし」文化の挫折と希望を解き明かす。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4./ 191p
978-4-10-610947-8

¥836〔税込〕



日本の国会議員～政治改革後の限界と可能性～(中公新書 2691)

濱本 真輔／濱本 真輔 著
中央公論新社

見えにくい国会議員の活動・役割。人材、選挙、政策形成、価値観、資金、国際比較など、あらゆる観点から国会議員の実態をデータに基づいて描く。多くの問題と原因を指摘し、日本政治に何が必要か、改革の方向性を示す。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4./ 7p,282p
978-4-12-102691-0

¥990〔税込〕



驚は舞い降りた 完全版(ハヤカワ文庫 NV)

ジャック・ヒギンズ、菊池 光 著
早川書房
日本経済新聞 2022/06/04

1997:4./ 574p
978-4-15-040834-3
¥1,100〔税込〕



脳は世界をどう見ているのか〜知能の謎を解く「1000の脳」理論〜

ジェフ・ホーキンス 著
早川書房
細胞の塊にすぎない脳に、なぜ知能が生じるのか。ビジネスと研究、AIと神経科学を行き来する異端児が、脳と人工知能の理解に革命を起こす「1000の脳」理論を解説する。

2022:4./ 323p
978-4-15-210127-3
¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2022/06/04



竜馬がゆく<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
青春小説の名作が読みやすくなって再登場。前半は、奥手だった幼年期から、剣術修行、脱藩、勝海舟との出会いと海軍塾設立までを描く

1998:9./ 446p
978-4-16-710567-9
¥825〔税込〕



日本経済新聞 2022/06/04



気候変動の真実〜科学は何を語り、何を語っていないか?〜

スティーブン・E・クーニン 著
日経BP社
なぜ気候科学はねじ曲げられて伝えられるのか? 社会が気候科学に対して抱く重要な疑問について、公式の評価報告書で示された事実をもとに答える。またそれらの気候変化に対して社会がとり得る対応について述べる。

2022:3./ 372p
978-4-296-00062-3
¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2022/06/04



<叱る依存>がとまらない

村中 直人 著
紀伊國屋書店出版部
「叱る」には依存性があり、エスカレートしていく。その理由は脳の「報酬系回路」にある。「叱る」という行為の本質を科学の知見や社会で起きている出来事をもとに見つめ直し、<叱る依存>を回避するためのヒントを伝授する。

2022:2./ 205p
978-4-314-01188-4
¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2022/06/04



魔術師と予言者～2050年の世界像をめぐる科学者たちの闘い～

チャールズ・C.マン 著
紀伊國屋書店出版部

現代の環境保護運動の礎となる理念を構築した生態学者ウィリアム・ヴォートと、品種改良による穀物の増産で「緑の革命」を成功させた農学者ノーマン・ポアローグ。2人の対立構図を軸に、人類が直面する環境上の難問に迫る。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:3/ 849p
978-4-314-01190-7
¥4,950〔税込〕



沖縄にどう向き合うか

豊里友行 著
新日本出版社

米軍基地の重圧にあえぐ故郷を記録し続けてきた気鋭の写真家が、今の沖縄と沖縄戦の時代に共通するものを見据えたモノクローム写真集。戦時下に起きた強制集団死に注目し、戦争と軍隊の本質をすべての日本人に問いかける。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:3/ 127p
978-4-406-06669-3
¥2,640〔税込〕



来たれ、新たな社会主義～世界を読む 2016-2021～

トマ・ピケティ 著
みすず書房

激動する世界のただ中で、格差と闘うエコノミストは何を訴えたのか？ピケティが構想する「新たな社会主義」とは？2016年から21年初頭にかけて『ルモンド』紙に寄稿した時評44本を精選し、新たに「序文」を付す。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4/ 226p,9p
978-4-622-09073-1
¥3,520〔税込〕



生きつづける民家～保存と再生の建築史～(歴史文化ライブラリー 548)

中村 琢巳 著
吉川弘文館

庶民の住宅=民家は、いかにして今日まで受け継がれてきたのか。メンテナンスを繰り返し、部材がリサイクルされる民家の特性を解明し、間取りや構造、自然素材、伝統技術などからも、秘められた価値を見つめ直す。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:5/ 8p,243p
978-4-642-05948-0
¥1,980〔税込〕



三河吉田藩～交通の要衝三河吉田と新居関を擁する譜代藩。「知恵伊豆」の血を引く大河内松平氏が長く治めた。～(シリーズ藩物語)

久住祐一郎 著
現代書館

近世中期以降には7万石を領する三河最大の藩であった吉田藩。吉田宿のほか今切(新居)関所を管轄し、「知恵伊豆」の渾名で有名な松平信綱を祖とする大河内松平氏が収めた三河吉田藩を、写真や図版とともに紹介する。

日本経済新聞 2022/06/04

2019:7/ 206p
978-4-7684-7153-1
¥1,760〔税込〕





三河吉田藩・お国入り道中記(インターナショナル新書 036)

久住 祐一郎 著

集英社インターナショナル

天保12年、三河吉田藩の参勤交代の行列が江戸を出発した。しかし、決まらない日程、ダブルブッキング、馬に乗れない老家臣など、数々の難題が…。藩の目付役が書き残した詳細な記録を繙き、働く武士のリアルな姿を描く。

日本経済新聞 2022/06/04

2019:4./ 234p
978-4-7976-8036-2

¥924〔税込〕



江戸藩邸へようこそ～三河吉田藩「江戸日記」～(インターナショナル新書 096)

久住 祐一郎 著

集英社インターナショナル

江戸藩邸とは、どのような空間だったのか？三河吉田藩に残る「江戸日記」等の古文書から、江戸藩邸の役割や仕組み、藩邸内で起きた事件、女性たちが暮らす「奥向」などを読み解き、武士たちのリアルを描き出す。

日本経済新聞 2022/06/04

2022:4./ 254p
978-4-7976-8096-6

¥968〔税込〕



雪の墓標(論創海外ミステリ 155)

マーガレット・ミラー、中川 美帆子 著

論創社

1950年代、デトロイト近郊の田舎町で、クリスマス間近の雪降る夜、1人の男が殺された。男女関係のもつれとみられ、警察はある女を逮捕するが…。アメリカ探偵作家クラブ巨匠賞受賞作家ミラーが放つ、クリスマス狂詩曲。

日本経済新聞 2022/06/04

2015:10./ 355p
978-4-8460-1455-1

¥2,420〔税込〕



神の方程式～「万物の理論」を求めて～

ミチオ・カク 著

NHK出版

世界は何でできている？ダークマターは存在するか？ひも理論研究の第一人者が、ビッグバンから宇宙の終わりまでのすべてを記述する「神の方程式」をめぐる、科学者たちの情熱と論争について語る。

日本経済新聞 2022/06/04、朝日新聞 2022/06/25

2022:4./ 217p,13p
978-4-14-081899-2

¥2,090〔税込〕



満洲国グランドホテル

平山周吉 著

芸術新聞社

ニキンスケ(東条英機、星野直樹、松岡洋右、岸信介、鮎川義介)だけで満洲は語れない。既存の満洲国イメージを覆す、満洲の土を踏んだ日本人の奇妙にして、真剣なる「昭和史」物語。芸術新聞社ウェブサイト連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/04、朝日新聞 2022/06/25

2022:4./ 565p
978-4-87586-639-8

¥3,850〔税込〕





検察審査会～日本の刑事司法を変えるか～(岩波新書 新赤版 1923)

デイビッド・T. ジョンソン、平山 真理、福来 寛 著
岩波書店

11人の市民がプロの検察官が下した不起訴処分を検証し、事件の再捜査および起訴すべきか否かを決定する「検察審査会」。世界でも類を見ない日本の独特な機関の実態に迫り、その有形無形の影響を跡付ける。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:4./ 10p,213p,9p
978-4-00-431923-8

¥946〔税込〕



NFTの教科書～ビジネス・ブロックチェーン・法律・会計までデジタルデータが資産になる未来～

天羽健介／増田雅史 著
朝日新聞出版

NFT(ノン・ファンジブル・トークン)にまつわるビジネスや技術といった社会実態から、法律・会計・税務上の取り扱いなどの制度面まで、幅広くカバーしたテキスト。各ジャンルで活躍する執筆陣が最前線を解説する。

日本経済新聞 2022/06/11

2021:10./ 319p
978-4-02-251797-5

¥1,980〔税込〕



東京棄民(講談社文庫 あ 150-1)

赤松 利市 著
講談社

令和4年。過去最高の重症者数と死者数を更新した新型コロナウイルスは「東京株」と名付けられた。政府は首都を見捨てる「東京逆ロックダウン」という政策を打ち立てる。だが、脱出できず東京に取り残された人々がいて...

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 331p
978-4-06-527614-3

¥748〔税込〕



私解説～ペン一本で生きてきた～

瀬戸内 寂聴 著
新潮社

25歳の家出と51歳の出家が、私の生涯の最も大きな「事件」であった。自分の出家の原因を問うことが、私の作家としての仕事であったのだ。瀬戸内寂聴が自身の代表作を読み解き、創作の秘話を交えて綴る。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 235p
978-4-10-311228-0

¥1,760〔税込〕



瀬戸内寂聴全集<25>

瀬戸内 寂聴 著
新潮社

80歳以降に書かれた小説、随筆、戯曲や句集、最期まで連載していた短篇小说などを瀬戸内寂聴が自ら精選。25は、長編小説「死に支度」「いのち」と、掌編連作小説「あこがれ」を収録。著作目録、年譜、アルバムも掲載。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 566p
978-4-10-646425-6

¥8,800〔税込〕





99年、ありのままに生きて

瀬戸内 寂聴 著
中央公論新社

大正から令和まで4つの時代を生きた瀬戸内寂聴。デビューまもない36歳のエッセイから、99歳の最後の対談まで、人々に希望を与え続けた一生を辿る。『婦人公論』に掲載されたエッセイ・対談・評論から厳選して収録。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 293p
978-4-12-005521-8

¥1,760〔税込〕



百歳いつまでも書いていたい〜小説家・瀬戸内寂聴の生きかた〜(NHK出版新書 672)

瀬戸内 寂聴 著
NHK出版

「生きているかぎり、書き続ける。だって、それが楽しいから」小説家で僧侶の瀬戸内寂聴が1998年から2021年にかけて出演したNHKラジオ番組での「語り」を再構成し書籍化。その肉声を再現する。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:3./ 231p
978-4-14-088672-4

¥968〔税込〕



太平洋の試練 レイテから終戦まで<上>

イアン・トール 著
文藝春秋

狙うべきは台湾か、フィリピンか。米国の選択がアジアの未来を変えた-。米国海軍史家が新資料で描き切る、巨弾太平洋戦史三部作・完結編。上は、序章「政治の季節」から第8章「死闘のレイテ島」までを収録。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:3./ 602p
978-4-16-391521-0

¥2,970〔税込〕



太平洋の試練 レイテから終戦まで<下>

イアン・トール 著
文藝春秋

硫黄島の秘策に、大和最後の出撃。混迷する日本の出口戦略が悲劇を呼ぶ-。米国海軍史家が新資料で描き切る、巨弾太平洋戦史三部作・完結編。下は、第9章「銃後のアメリカ」から終章「太平洋の試練」までを収録。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:3./ 621p
978-4-16-391522-7

¥2,970〔税込〕



太平洋の試練〜真珠湾からミッドウェイまで〜<上>(文春文庫 ト5-1)

イアン・トール 著
文藝春秋

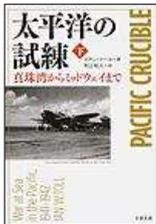
「戦争の勝敗は、艦隊が一気に敵を殲滅する海戦で決する」という日米両海軍の理論的支柱となった教義に疑問を抱いた異端児が、革命的手法を提案し…。日本が戦争に勝っていた180日間を描く。

日本経済新聞 2022/06/11

2016:2./ 458p
978-4-16-790561-3

¥1,012〔税込〕





太平洋の試練～真珠湾からミッドウェイまで～<下>(文春文庫 ト 5-2)

イアン・トール 著

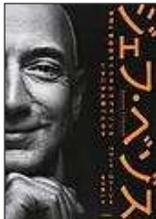
文藝春秋

真珠湾攻撃で戦艦のほぼ全てを失ったアメリカ。圧倒的戦力で、太平洋地域を席卷する日本陸海軍。しかし、ハワイの秘密部隊が日本軍の暗号解読作業を進めていて…。日本が戦争に勝っていた 180 日間を描く。

日本経済新聞 2022/06/11

2016:2./ 498p
978-4-16-790562-0

¥1,078 [税込]



ジェフ・ベゾス～発明と急成長をくりかえすアマゾンをいかに生み育てたのか～

ブラッド・ストーン 著

日経 B P 社

止まらない発明、秘密のプロジェクト、歴史に残る成功と急成長、圧倒的権力、不倫、離婚、うずまく不満と批判、パンデミック、退任…。世界一の支配力を持つアマゾンとその創業者に、トップジャーナリストが切り込む。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:4./ 506p
978-4-296-00067-8

¥2,420 [税込]



最後の防衛線～危機と日本銀行～

中曾 宏 著

日経 B P 社

何に悩み、考え、行動したか。1990 年代の日本の金融危機と、2008 年のリーマンブラザーズの破綻を挟む国際金融危機の最前線で指揮を執った前日本銀行副総裁が明かす戦いの記録。危機の現場と対応策の全てを語る。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 736p
978-4-296-11307-1

¥4,620 [税込]



人間らしさとは何か～生きる意味をさぐる人類学講義～(河出新書 047)

海部 陽介 著

河出書房新社

平等、泣き、笑い、芸術…。生存にも繁殖にも役立たないことを行う人間。人類進化学者が、人間が誕生するまでの道のりや、科学的人間論の最先端を解説しながら、「なぜわかり合えるのか」から人間らしさをとらえなおす。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:2./ 318p
978-4-309-63148-6

¥990 [税込]



プロセスエコノミー～あなたの物語が価値になる～

尾原和啓 著

幻冬舎

良いモノだけでは稼げない時代には、完成品ではなく「制作過程」を売る! 人がプロセスに共感するメカニズムを解説し、プロセス自体を売る新しい稼ぎ方「プロセスエコノミー」の考え方、実践方法や実例などを紹介。

日本経済新聞 2022/06/11

2021:7./ 182p
978-4-344-03833-2

¥1,650 [税込]





遺す言葉〜「寂庵だより」2017-2008年より〜

瀬戸内寂聴／瀬戸内寂聴 著
祥伝社

もう今夜死んでも不思議ではない年齢だ。今となつては、何も思い残すことはない。書き足りない想いもない。瀬戸内寂聴が編集長を務めた『寂庵だより』2008～2017年の随想をまとめる。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:4/ 358p
978-4-396-61777-6
¥1,540〔税込〕



今日を楽しく生きる〜「寂庵だより」2007-1998年より〜

瀬戸内 寂聴 著
祥伝社

明日は何が起るかかわからないのだから、そこに美しいもの、愉快なものが待ち受けていると思う方が、今夜の眠りは安らかである。瀬戸内寂聴が編集長を務めた『寂庵だより』1998～2007年の随想をまとめる。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5/ 390p
978-4-396-61781-3
¥1,650〔税込〕



捨てることから始まる〜「寂庵だより」1997-1987年より〜

瀬戸内 寂聴 著
祥伝社

人間は孤独だという認識を持てば、大方の困難には耐えてゆかれる気がする。孤独だからこそ、他者の孤独の淋しさを思いやる事が出来る。瀬戸内寂聴が編集長を務めた『寂庵だより』1987～1997年の随想をまとめる。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:6/ 437p
978-4-396-61785-1
¥1,760〔税込〕



暗号資産の法律

増島 雅和、堀 天子 著
中央経済社

暗号資産を取り巻く現在の日本の法律の状況を多角的に解説。法令解説にとどまらず、ブロックチェーン技術の特性や金融に与えるインパクト、暗号資産を金融実務に応用するにあたっての諸論点等も多面的に紹介する。

日本経済新聞 2022/06/11

2020:7/ 3p,12p,278p
978-4-502-35211-9
¥3,740〔税込〕



医療エラーはなぜ起きるのか〜複雑なシステムが患者を傷つける〜

ダニエル・オーフリ 著
みすず書房

米国では、医療エラーが死因の第3位を占めている。電子カルテの意地悪な仕組み、細分化される現場の責任、医療者の過酷な勤務形態や階層構造…。現役内科医があらゆる角度から医療エラーの実態に迫る。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5/ 344p,12p
978-4-622-09089-2
¥3,740〔税込〕





アメリカ世界秩序の終焉〜マルチプレックス世界のはじまり〜

アミタフ・アチャリア 著
ミネルヴァ書房

今後の世界秩序はどうなるのか。「アメリカ世界秩序」が終焉し、次に来たる「マルチプレックス世界」がどのような姿となっていくのかを、正確に見極めるための重要な指標を示す。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:2./ 28p,275p,5p
978-4-623-09258-1

¥3,850〔税込〕



カタストロフ前夜〜パリで3・11を経験すること〜

関口 涼子 著
明石書店

世界で日々起きている破局的な出来事。その狭間を自分も生きている。身近な人の大切な時に立ち会えなかった作家に大震災がもたらした、生者と死者とを結ぶ思想とは。フランスで出版した3冊の本をまとめた邦訳版。

日本経済新聞 2022/06/11

2020:3./ 251p
978-4-7503-4977-0

¥2,640〔税込〕



攻撃される知識の歴史〜なぜ図書館とアーカイブは破壊され続けるのか〜

リチャード オヴェンデン 著
柏書房

土に埋もれた粘土板のかけら、焚きつけにされたパピルス、2度焼かれた図書館…。過去に起きた図書館や公文書館の破壊だけでなく、ライブラリアンやアーキビストがそれにどう立ち向かったか、彼らの功績を取り上げる。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:4./ 392p
978-4-7601-5442-5

¥3,300〔税込〕



現代文学風土記

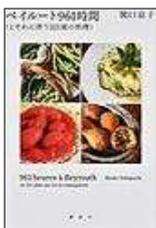
酒井信 著
西日本新聞社

気鋭の批評家、酒井信が土地から小説を読み解くブックガイド。47都道府県、純文学からエンタメ小説までを網羅し、読書感想文向けや文学賞受賞作などの分類も表示する。掲載作品年表も収録。

日本経済新聞 2022/06/11

2022:5./ 415p
978-4-8167-1001-8

¥1,980〔税込〕



バイルート 961 時間〜とそれに伴う 321 皿の料理〜

関口 涼子 著
講談社

戦争の傷跡が色濃く残る街で、わたしは人々に食べ物の話を聞く。多彩な声と仕草で語られる物語は、万華鏡のように街の肖像を描き出す。バイルート、パリ、東京を往還しながら紡ぐ、多様性に満ちた「食」の思考。

日本経済新聞 2022/06/11、朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 278p
978-4-06-526077-7

¥1,760〔税込〕





ロシア点描～まちかどから見るプーチン帝国の素顔～

小泉 悠 著
P H P 研究所

ロシア人とはいかなる人々で、ロシアではどんな生活が営まれているのか。なぜ西側の世界と相容れないのか。住まい、街並み、地下空間、食生活、国際関係などをテーマに具体的に解説する。プーチン権力の行方も論じる。

日本経済新聞 2022/06/11、東京・中日新聞 2022/06/12、読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 185p
978-4-569-85185-3
¥1,760〔税込〕



書こうとしない「かく」教室(MSLive!BOOKS)

いしいしんじ 著
ミシマ社

書こうとしない作家・いしいしんじの名作は、どのように“かかれた”のだろう？ 移り住む土地、数奇なる半生、創作...3つの関係を振り返り、その謎に迫る講義録。ミシマ社のオンラインイベントの内容を再構成し加筆・修正。

日本経済新聞 2022/06/11、毎日新聞 2022/06/25

2022:4./ 217p
978-4-909394-66-8
¥1,980〔税込〕



ちょうちょのためにドアをあけよう

ルース・クラウス 著
岩波書店

おねだりするときどんな顔をしたらいいか、練習しておくといいよ-。小さな子どもが、小さな読者に向けて「こんなときはこうするといいよ」「こんなときはこう言うといいよ」とアドバイスをする、ゆかいな暮らしの便利帳。

日本経済新聞 2022/06/18

2018:5./ 48p
978-4-00-112672-3
¥1,100〔税込〕



旅する練習

乗代 雄介 著
講談社

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て...。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/06/18

2021:1./ 170p
978-4-06-522163-1
¥1,705〔税込〕



演奏家が語る音楽の哲学(講談社選書メチエ 764)

大嶋 義実 著
講談社

音楽とはどのような芸術か。その美はどこから生まれるのか-。第一線で活躍するフルーティストが、演奏という観点から、音の芸術と人間のかかわりについて語る。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 221p
978-4-06-523977-3
¥1,760〔税込〕





パパイヤ・ママイヤ

乗代 雄介 著
小学館

SNS で知り合ったパパイヤとママイヤは、木更津の小櫃川河口の干潟で待ち合わせをする。流木が折り重なる“木の墓場”で会うようになった 2 人は、心を通わせていき…。『STORY BOX』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 201p
978-4-09-386644-6
¥1,760〔税込〕



短歌と俳句の五十番勝負(新潮文庫 ほ-28-1)

穂村 弘／堀本 裕樹 著
新潮社

椅子、動く、たまゆら、信じられない…。歌人・穂村弘と俳人・堀本裕樹が、作家、詩人、タレント、牧師、小学生など 50 人から寄せられたお題で新作を詠む、五十番勝負。自由に読み解く愉しみを伝えるエッセイも収録。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:6./ 268p
978-4-10-104041-7
¥605〔税込〕



赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1)

庄司 薫 著
新潮社

学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校 3 年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴ったりの 1 日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した 60 年代の青春小説。

日本経済新聞 2022/06/18

2012:3./ 198p
978-4-10-138531-0
¥539〔税込〕



皆のあらばしり

乗代 雄介 著
新潮社

高校の歴史研究部に所属するぼくは、ある日皆川城址で中年男に出会う。男は、ぼくが入手した旧家の蔵書目録を奪い取った。うさん臭さを警戒しつつ、ぼくは男の博識に惹かれていき…。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/06/18

2021:12./ 133p
978-4-10-354371-8
¥1,650〔税込〕



後悔を活かす心理学～成長と成功を導く意思決定と対処法～(中公新書 2692)

上市 秀雄／上市 秀雄 著
中央公論新社

後悔を“成長のもと”に変えるには? 「やらないで後悔するのとやって後悔するのとどちらがマシか」「後悔とうまく付き合うにはどうすればよいのか」など、効果的な意思決定と対処法を解説する。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:4./ 3p,271p
978-4-12-102692-7
¥1,056〔税込〕





知の逆転(NHK 出版新書 395)

ジャレド・ダイヤモンド、ノーム・チョムスキー、オリバー・サックス、マービン・ミンスキー、トム・レイトン、ジェームズ・ワトソン 著

NHK出版

限りなく真実を追い求め、学問の常識を逆転させた叡智6人。彼らはいま、人類の未来をどう予見しているのか。「人工知能の可能性は?」「情報社会のゆくえは?」など、現代最高の知性が最も知りたいテーマについて語る。

日本経済新聞 2022/06/18

2012:12./ 301p
978-4-14-088395-2

¥946 [税込]



されどわれらが日々(文春文庫)

柴田 翔 著

文芸春秋

何一つ確かなものもない時代を懸命に生きようとした二人の男女を描き、60年代~70年代にヒットした青春文学の大ベストセラー

日本経済新聞 2022/06/18

2007:11./ 269p

978-4-16-710205-0

¥627 [税込]



<ケースでわかる>実践パーパス経営

伊吹 英子/古西 幸登 著

日経BP社

「揺らぐことのない社会的な存在意義」を指すパーパス。その概念を経営のなかに取り入れ、実践している企業を数多く紹介。パーパスの企業経営への応用や、経営テーマとのつながりについても解説する。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:4./ 294p

978-4-296-00069-2

¥2,420 [税込]



平安貴族サバイバル

木村 朗子 著

笠間書院

優雅なイメージとは裏腹に、セルフプロデュース力やコミュニケーションスキルが厳しく求められていた平安貴族。弱肉強食の世界に翻弄されながらも、意外とアグレッシブに生きた人々の軌跡を、史実と文学作品をもとに解説する。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 196p

978-4-305-70956-1

¥1,650 [税込]



マークの本

佐藤 卓 著

紀伊國屋書店出版部

マークには、津々浦々の人々の想いと営みが生きている。グラフィックデザインの第一人者として活躍する著者が、自ら手掛けた120のシンボルマーク、ロゴの制作背景にある思考と技術を解説する。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 267p

978-4-314-01191-4

¥2,750 [税込]





辺野古入門(ちくま新書 1650)

熊本 博之 著
筑摩書房

普天間基地移設問題の最前線、名護市辺野古。キャンプ・シュワブとどのような関係にあるか、普天間基地移設の候補地としてなぜ浮上したのか。社会学者が、20年にわたるフィールドワークをもとにその歴史と現在を描き出す。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:4./ 221p
978-4-480-07476-8

¥880〔税込〕



リスク〜神々への反逆〜<上>(日経ビジネス人文庫)

ピーター・バーンスタイン、青山 護 著
日本経済新聞出版社

日本経済新聞 2022/06/18

2001:8./ 306p
978-4-532-19079-8

¥785〔税込〕



ウォール街のランダム・ウォーカー〜株式投資の不滅の真理〜 原著第12版

バートン・マルキール 著
日本経済新聞出版社

低成長、AIの時代に勝つ手法とは? 45年以上世界中で読み続けられている、個人投資家のための総合的な投資指南書。「仮想通過バブル」「スマート・ベータ」「リスク・パーティ」などを追加した原著第12版の翻訳。

日本経済新聞 2022/06/18

2019:7./ 511p
978-4-532-35823-5

¥2,750〔税込〕



シュンペーター経済発展の理論<初版>

J・A・シュンペーター 著
日本経済新聞出版社

<発展>の経済学を追究し、企業者とその革新活動(新結合)の概念をもたらした「経済発展の理論」。一般に読まれている、第7章を削除した第2版以降の版ではなく、初版を第一人者が日本初翻訳する。

日本経済新聞 2022/06/18

2020:5./ 16p,515p
978-4-532-35854-9

¥4,620〔税込〕



ブリュッセル効果 EUの覇権戦略〜いかに世界を支配しているのか〜

アニュ・ブラッドフォード 著
白水社

昨今のEU衰退論は、「規範形成力」が全く視野に入っていない。この力を「ブリュッセル効果」と呼び、プライバシーから環境・食品安全まで、EUの驚くべき世界支配の実相を、実証研究から明らかにする。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:4./ 411p,122p
978-4-560-09893-6

¥6,380〔税込〕





歌う民衆と放歌高吟の近代～放歌民衆から唱歌・軍歌を歌う国民へ～

永嶺重敏 著
勉誠出版

古来日本人の生活は歌とともにあったが、明治の文明開化の流れの中で、暴行事件が多発したことにより放歌=辺りかまわず大声で歌うことは、野蛮な行為とみなされ処罰の対象となった。放歌の歴史を資料、多数の図版から紐解く。

日本経済新聞 2022/06/18

2022:5./ 13p,271p
978-4-585-37003-1

¥3,850〔税込〕



生き方～人間として一番大切なこと～

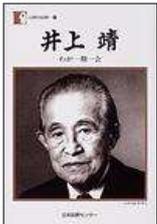
稲盛 和夫 著
サンマーク出版

人間として正しい生き方を志し、ひたすら貫きつづける。それが、いま私たちにもっとも求められている。混迷の時代に打ち込む、「生き方」という一本の杭。京セラと KDDI を創業した著者が語りつくす、人生哲学の集大成。

日本経済新聞 2022/06/18

2004:7./ 246p
978-4-7631-9543-2

¥1,870〔税込〕



井上靖～わが一期一会～(人間の記録)

井上 靖 著
日本図書センター

壮大なスケールの歴史小説を描いた物語の名手が語る愛と感動の人間ドラマ。別離について、旅情について、詩について、その他著者が思ったこと、感じたことについて自由に綴る。1975年毎日新聞社刊「わが一期一会」改題。

日本経済新聞 2022/06/18

2004:9./ 298p
978-4-8205-9579-3

¥1,980〔税込〕



成功の実現

中村 天風 著
日本経営合理化協会出版局
日本経済新聞 2022/06/18

1988:1./ 398p
978-4-930838-54-4

¥10,780〔税込〕



翻訳仏文法<下>

鷺見洋一 著
バベルプレス
日本経済新聞 2022/06/18

1987:2./ 385p
978-4-931049-24-6

¥3,740〔税込〕



苦役列車(新潮文庫 に23-4)

西村 賢太 著
新潮社

友もなく、女もなく、1杯のコップ酒を心の慰めに、その日暮らしの港湾労働で生計を立てている19歳の貫多。或る日、彼の生活に変化が訪れたが...。「落ちぶれて袖に涙のふりかかると」を併録。

日本経済新聞 2022/06/18、読売新聞 2022/06/26

2012:4./ 170p
978-4-10-131284-2

¥539〔税込〕





雨滴は続く

西村 賢太 著
文藝春秋

北町貫多が同人誌に発表した小説が、大手文芸誌「文豪界」に転載された。37年の人生において初めて訪れたチャンスをもにすべく、苦悶しながらも奮闘する作家前夜の日々を描く。『文學界』掲載の未完の遺作を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/18、読売新聞 2022/06/26

2022:5./ 485p
978-4-16-391543-2

¥2,200〔税込〕



編集者ディドロ〜仲間と歩く『百科全書』の森〜

鷺見 洋一 著
平凡社

18世紀フランス啓蒙思想の金字塔「百科全書」は、いかに生まれたのか。編集長を務めた思想家ディドロと「結社」の仲間たちの壮大なプロジェクトの全貌を、膨大な資料と最新研究、多彩な図版を駆使して描き出した大著。

日本経済新聞 2022/06/18、毎日新聞 2022/06/25

2022:4./ 895p
978-4-582-70363-4

¥5,280〔税込〕



ふんどしニッポン〜下着をめぐる魂の風俗史〜(朝日新書 864)

井上章一 著
朝日新聞出版

三島由紀夫にとっての正装であり、特殊な精神性をまとう和の下着、ふんどし。ふんどしがパンツにとってかわられるまでの歴史を追い、日本人の精神史を内側から紐解く。ふんどし姿の人たちの写真など 150 余点を掲載。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5./ 326p
978-4-02-295159-5

¥979〔税込〕



孤蝶の城

桜木 紫乃 著
新潮社

秀男はモロッコで手術を受け、日本で初めて「女の体」を手に入れるが、やがて追い詰められていき…。自己と闘う思春期を描いた「緋の河」に続き、世間と闘う激動期を活写する。『小説新潮』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5./ 472p
978-4-10-32726-2

¥2,090〔税込〕



資本主義の方程式〜経済停滞と格差拡大の謎を解く〜(中公新書 2679)

小野 善康 著
中央公論新社

お金や富の保有願望「資産選好」に注目し、経済構造が大きく変貌した経緯を解明。高度成長期を支えた従来型の金融緩和や構造改革、減税やバラマキ、教育方針が逆効果であることを明らかにし、低成長時代の経済政策を提言する。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:1./ 9p,212p
978-4-12-102679-8

¥902〔税込〕





両岸の旅人〜イスマイル・ユルバンと地中海の近代〜(シリーズ・グローバルヒストリー 3)

工藤 晶人 著
東京大学出版会

グローバルヒストリーの方法を用いて、世界史の新しい見方を提示するシリーズ。19世紀の地中海史を、奴隷制と人種主義、キリスト教圏とイスラーム圏の相克など境界を生きる人たちのまなざしから論じる。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:6./ 6p,302p,12p
978-4-13-025173-0

¥3,300〔税込〕



わたしの好きな季語

川上 弘美 著
NHK出版

行きつけだった居酒屋から、東京の四季おりおり、すこし人見知りな作家の日常まで。川上弘美ワールドを満喫しながら季語の奥深さを体感できる、俳句エッセイ集。全96篇を収録。『すてきにハンドメイド』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/25

2020:11./ 207p

978-4-14-005714-8

¥1,870〔税込〕



さらば、欲望〜資本主義の隘路をどう脱出するか〜(幻冬舎新書 さ-6-2)

佐伯啓思 著
幻冬舎

グローバリズムの矛盾の露呈、新型コロナ、プーチンによる戦争。すべての惨状は、グローバリズムの必然の帰結なのだ。稀代の思想家が、隘路を脱するための新たな価値を模索する。『朝日新聞』等連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5./ 219p

978-4-344-98656-5

¥990〔税込〕



最も賢い億万長者〜数学者シモンズはいかにしてマーケットを解読したか〜<上>

グレゴリー・ザッカーマン 著
ダイヤモンド社

40歳で数学者からトレーダーに転身したジム・シモンズが創始したヘッジファンド「ルネサンス・テクノロジー」は、なぜ桁外れの利益を出し続けるのか。アルゴリズム投資の裏で繰り広げられる、科学者たちのドラマを描く。

日本経済新聞 2022/06/25

2020:9./ 287p

978-4-478-10913-7

¥1,980〔税込〕



最も賢い億万長者〜数学者シモンズはいかにしてマーケットを解読したか〜<下>

グレゴリー・ザッカーマン 著
ダイヤモンド社

40歳で数学者からトレーダーに転身したジム・シモンズが創始したヘッジファンド「ルネサンス・テクノロジー」は、なぜ桁外れの利益を出し続けるのか。アルゴリズム投資の裏で繰り広げられる、科学者たちのドラマを描く。

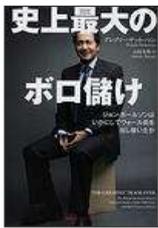
日本経済新聞 2022/06/25

2020:9./ 295p

978-4-478-11175-8

¥1,980〔税込〕





史上最大のボロ儲け～ジョン・ポールソンはいかにしてウォール街を出し抜いたか～

CCCメディアハウス
日本経済新聞 2022/06/25

2010:12.
978-4-484-10118-7
¥1,980〔税込〕



次なる100年～歴史の危機から学ぶこと～

水野 和夫 著
東洋経済新報社

近代はどう終わるのか、「第2の中世」の到来か。「例外」と「常態」の転倒、資本家の蒐集(コレクション)の歴史の終わりを意味するゼロ金利、利子と資本…。水野「文明史観」を壮大なスケールで説く。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:1/
9p,752p,175p
978-4-492-44465-8
¥3,960〔税込〕



世界を手で見る、耳で見る～目で見ない族からのメッセージ～

堀越 喜晴 著
毎日新聞出版

私たちは本当に「見て」いるのか。触れて、聴いて、全身で感じるこの国に吹く風…。2歳のときに光を失った言語学者による、社会の風をとらえたエッセイ。『点字毎日』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5/ 213p
978-4-620-32739-6
¥1,760〔税込〕



チェコに学ぶ「作る」の魔力

あまの さくや 著
かもがわ出版

絵はんこ作家が、愛するチェコの文化や人びととの出会いを通して、チェコに息づく「作る」ことの根源的な魅力と不思議なパワーを探る。写真・絵はんこ・マンガも多数収録し、絵はんこの彫り方も掲載する。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5/ 185p
978-4-7803-1221-8
¥1,760〔税込〕



南蛮幻想～ユリシーズ伝説と安土城～<上巻>(草思社文庫 い 8-1)

井上 章一 著
草思社

なぜ「天守閣」＝「キリスト教の聖堂」という珍説は江戸時代に出現したのか? 真っ当な研究からトンデモ説までをふくむ多様な言説を分析し、西洋への憧れが生んだ「幻想の系譜」を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/06/25

2021:8/ 394p
978-4-7942-2530-6
¥1,320〔税込〕





南蛮幻想〜ユリシーズ伝説と安土城〜<下巻>(草思社文庫 い 8-2)

井上 章一 著
草思社

坪内逍遙に始まった「百合若大臣のユリシーズ起源説」。百合若ははたして本当にギリシャ由来なのか。天守閣論との意外な共通点とは。西洋への憧れが生んだ日本人の「幻想の系譜」を、膨大な論説を自在に横断し徹底解明する。

日本経済新聞 2022/06/25

2021:8./ 359p
978-4-7942-2531-3

¥1,320〔税込〕



樹木の恵みと人間の歴史〜石器時代の木道からトトロの森まで〜

ウィリアム・ブライアント・ローガン 著
築地書館

古来、人間は、木を伐ることで樹木の無限の恵みを引き出し、利用してきた。ニューヨーク植物園の育樹家が、世界各地を旅し、1万年にわたって人の暮らしと文化を支えてきた、樹木を収穫する技術を掘り起こす。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:5./ 378p
978-4-8067-1633-4

¥3,520〔税込〕



フィールド・レコーディング入門〜響きのなかで世界と出会う〜

柳沢 英輔 著
フィルムアート社

木々のざわめきに、都市の喧騒に、民族音楽の背後に、固体を伝う振動に、水中の音環境に、何を聞き取ることができるのか。実践と鑑賞を通じて、音の可能性を拡張する音響文化論。音源が聴けるQRコード付き。

日本経済新聞 2022/06/25

2022:4./ 302p
978-4-8459-2124-9

¥2,640〔税込〕



シェール革命〜夢想家と呼ばれた企業家たちはいかにして地政学的変化を引き起こしたか〜

グレゴリー・ザッカーマン 著
楽工社

米国を「エネルギー大国」の地位に押し上げ、世界情勢に劇的変化をもたらしたシェール革命。この重大な革命を成し遂げた、当初は無名の企業家だった“偉大なる山師たち”の波乱万丈のストーリーを描く。

日本経済新聞 2022/06/25、読売新聞 2022/06/26

2022:4./ 485p
978-4-903063-93-5

¥2,970〔税込〕



ジャン・クリストフ<1> 改版(岩波文庫)

ロマン・ローラン 著
岩波書店

毎日新聞 2022/06/04

1986:6./ 540p
978-4-00-325551-3

¥1,210〔税込〕





ゆく川の流れば、動的平衡

福岡伸一 著
朝日新聞出版

今日の私は昨日の私ではない。流れに委ねるしかない。自然、芸術、暮らし。日常に生起する感慨をスケッチし、生命の動的平衡と利他性のつながりを表す。2015年12月～2020年3月の『朝日新聞』連載を改題し書籍化。

毎日新聞 2022/06/04

2022:3./ 241p,6p
978-4-02-251814-9

¥1,870〔税込〕



メタバース進化論～仮想現実の荒野に芽吹く「解放」と「創造」の新世界～

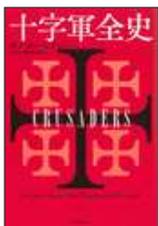
バーチャル美少女ねむ 著
技術評論社

仮想現実における人類の新たな生活空間「メタバース」としてソーシャルVRが注目されている。その生活実態や文化など、実際にメタバースに生きる原住民ならではのリアルティ溢れる内容を、データの裏付けとともに紹介する。

毎日新聞 2022/06/04

2022:3./ 318p
978-4-297-12755-8

¥1,980〔税込〕



十字軍全史

ダン・ジョーンズ 著
河出書房新社

教皇、皇帝、王、騎士、商人、捕虜、詩人、スルタン…。ヨーロッパ諸国からイスラム、バルカン地域、クルド人、バイキングまで。聖戦にかかわったさまざまな人々のエピソードで綴る十字軍史。

毎日新聞 2022/06/04

2022:3./ 537p
978-4-309-22840-2

¥5,610〔税込〕



死をポケットに入れて(河出文庫)

チャールズ・ブコウスキー 著
河出書房新社

老いて一層パンクにハードに突っ走るBUKの痛快日記。五十年愛用のタイプライターを七十歳にしてMacに替え、文学を、人生を、老いと死を語る。カウンター・カルチャーのヒーロー、R・クラムのイラスト満載。

毎日新聞 2022/06/04

2002:1./ 234p
978-4-309-46218-9

¥880〔税込〕



京都の中華(幻冬舎文庫 か-45-1)

姜 尚美 著
幻冬舎

京都の中華は、ほかの街とちょっと違う。京都に育った著者が個人的に好きな京都の中華料理店を取材し、どのように今の味に落ち着いたのかを紹介する。京都と中華のなれそめなどもまとめる。データ:2012年4月現在。

毎日新聞 2022/06/04

2016:12./ 285p
978-4-344-42547-7

¥880〔税込〕





ウトロここで生き、ここで死ぬ

中村 一成 著
三一書房

植民地時代に形成された在日朝鮮人集落のなかでも「先鋭(左派)分子の集落」「在日の最貧集落」など同胞からも白眼視された宇治市ウトロ。止めどなく後退していく世界で、とどまって闘い抜いた者たちの記録。

毎日新聞 2022/06/04

2022:4./ 349p
978-4-380-22003-6

¥3,080〔税込〕



あつという間

南伸坊 著
春陽堂書店

電車内のエチケット、賽銭ドロポアの作法、ポケ防止の呪文、はじめての大腸検査、おじいさんのお正月...。どこかクリエイティブで冗談みたいなホントの話を綴る。月刊『日本橋』連載などを単行本化。

毎日新聞 2022/06/04

2022:4./ 250p
978-4-394-77004-6

¥1,760〔税込〕



会計と経営の七〇〇年史～五つの発明による興奮と狂乱～(ちくま新書 1647)

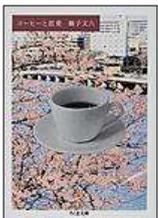
田中 靖浩、田中 靖浩 著
筑摩書房

簿記、株式会社、証券取引所、利益計算、情報公開。現代のビジネスを支える5つの大発明の影にあった、逆境に立ち向かう者たちの興奮と狂乱のドラマを語る。

毎日新聞 2022/06/04

2022:4./ 249p
978-4-480-07475-1

¥924〔税込〕



コーヒーと恋愛(ちくま文庫 し 39-1)

獅子 文六 著
筑摩書房

お茶の間の人気女優・坂井モエ子43歳はコーヒーを淹れさせればピカイチ。だが、そのコーヒーが縁で仲睦まじい生活が続かずだったベンちゃんが、突然“生活革命”を宣言し若い女優の元へ去ってしまい...。恋愛ユーモア小説。

毎日新聞 2022/06/04

2013:4./ 396p
978-4-480-43049-6

¥968〔税込〕



居場所なき革命～フランス 1968年とドゴール主義～

吉田徹 著
みすず書房

世界中の学生と労働者が異を唱え、現代政治の諸問題を提起し、社会と国家が正面から衝突した1968年。各国で起きた運動は何だったのか。その本拠地フランス五月革命の意味を、反革命としてのドゴール政治を通して探り出す。

毎日新聞 2022/06/04

2022:4./ 231p,49p
978-4-622-09081-6

¥4,180〔税込〕





災害と復興天明三年浅間山大噴火

孺恋郷土資料館 編
新泉社

火山噴火の猛威と甚大な災害。被災を乗り越え、語り継ぎ、復興する人びと。火山噴火・地震・集中豪雨などにどう対処すべきかを、天明三年浅間山大噴火が巻き起こした災害の実相、そして地域の人びとによる救済と復興から学ぶ。

毎日新聞 2022/06/04

2022:4./ 94p
978-4-7877-2201-0

¥1,980〔税込〕



タゴール・ソングス

佐々木 美佳 著
三輪舎

「歌い、そして自分を信じなさい」 タゴールの歌は教えてくれる、別れ、貧困、矛盾、苦境を乗り越える力が自分のなかにあることを。ドキュメンタリー映画「タゴール・ソングス」の取材・撮影で出会った歌手をめぐる物語。

毎日新聞 2022/06/04

2022:2./ 142p
978-4-9908116-9-3

¥1,980〔税込〕



編集の提案

宮田文久 編
津野海太郎 著
黒鳥社

謎めいて、不思議で、奥深い「編集」という営為の、知られざる正体。伝説の編集者の実践と思索に、その新たな可能性を探る、「編集者以外の人」のための編集論アンソロジー。津野海太郎×若林恵×宮田文久の鼎談も収録。

毎日新聞 2022/06/04

2022:3./ 255p 図版

32p
978-4-9911260-8-6

¥2,200〔税込〕



宮廷女性の戦国史

神田 裕理 著
山川出版社

「皇后不在」の戦国時代に躍動した、後宮女房と皇女。武家政権との折衝、公家間の仲裁、天皇家の家政、そして世継ぎの出産-。歴史から見落とされていた彼女たちの役割と一生を明らかにする。

毎日新聞 2022/06/04、朝日新聞 2022/06/18

2022:4./ 295p
978-4-634-15205-2

¥1,980〔税込〕



千代田区一番一号のラビリンス

森達也 著
現代書館

天皇の生の言葉を引き出したいという熱情に突き動かされたドキュメンタリストが、象徴天皇制の本質に迫る番組企画を立ち上げる。そして、ついに企画実現の突破口を探り出し…。皇室を巡るタブーに一石を投じる問題小説。

毎日新聞 2022/06/04、東京・中日新聞 2022/06/12

2022:3./ 382p
978-4-7684-5913-3

¥2,420〔税込〕





神薙虚無最後の事件

紺野 天龍 著
講談社

大学2年の白兔は、実在した名探偵の活躍を記したベストセラーミステリ「神薙虚無最後の事件」と出会う。謎を残したまま20年前に完結した作品に秘められた謎を解いたとき、目にするのは…。『小説現代』をもとに書籍化。

毎日新聞 2022/06/05

2022:5/ 346p
978-4-06-527350-0
¥1,870〔税込〕



入れ子細工の夜

阿津川辰海 著
光文社

秘密を暴露された作家。いや、捏造された作家？嘘と真実が裏返し続ける2人劇を描いた表題作をはじめ、本格ミステリの極限を探る、濃縮された4編を収録。『ジャーロ』掲載をまとめて単行本化。

毎日新聞 2022/06/05

2022:5/ 305p
978-4-334-91464-6
¥1,980〔税込〕



戦国武将、虚像と実像(角川新書 K-392)

呉座 勇一 著
KADOKAWA

信長は戦前まで人気がなかった。秀吉は人たらしでなく邪悪だった…。時代ごとに変化していた人物像。最新研究に基づく実像を示すだけでなく、著名武将のイメージの変遷から日本人の歴史認識の変化と特徴までを明らかにする。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5/ 317p
978-4-04-082400-0
¥1,034〔税込〕



カラマーゾフの兄弟<上巻> 改版(新潮文庫 ト-1-9)

ドストエフスキー 著
新潮社

物欲の権化のような父フョードル・カラマーゾフの血を、それぞれ相異なりながらも色濃く引いた三人の兄弟。放蕩無頼な情熱漢ドミトリー、冷徹な知性人イワン、敬虔な修道者で物語の主人公であるアリョーシャ。そして、フョードルの私生児と噂されるスメルジャコフ。これらの人物の交錯が作り出す愛憎の地獄図絵の中に、神と人間という根本問題を据え置いた世界文学屈指の名作。

毎日新聞 2022/06/11

2012:12./ 667p
978-4-10-201010-5
¥1,045〔税込〕





カラマーゾフの兄弟<中巻> 改版(新潮文庫 ト-1-10)

ドストエフスキー 著
新潮社

19世紀中期、価値観の変動が激しく、無神論が横行する混乱期のロシア社会の中で、アリョーシャの精神的支柱となっていたゾシマ長老が死去する。その直後、遺産相続と、共通の愛人グルーシェニカをめぐる父フョードルと長兄ドミートリイとの醜悪な争いのうちに、謎のフョードル殺害事件が発生し、ドミートリイは、父親殺しの嫌疑で尋問され、容疑者として連行される。

毎日新聞 2022/06/11

2012:12./ 615p
978-4-10-201011-2
¥990〔税込〕



カラマーゾフの兄弟<下巻> 改版(新潮文庫 ト-1-11)

ドストエフスキー 著
新潮社

父親殺しの嫌疑をかけられたドミートリイの裁判がはじまる。公判の進展をつうじて、ロシア社会の現実が明らかにされてゆくとともに、イワンの暗躍と、私生児スメルジャコフの登場によって、事件は意外な方向に発展し、緊迫のうちに結末を迎える。ドストエフスキーの没する直前まで書き続けられた本書は、有名な「大審問官」の章をはじめ、著者の世界観を集大成した巨編である。

毎日新聞 2022/06/11

2012:12./ 682p
978-4-10-201012-9
¥1,045〔税込〕



村雨辰剛と申します。

村雨 辰剛 著
新潮社

日本が好き、和の美と心が好き。それが僕の原動力-。スウェーデンに生まれ、語学講師として来日。ドラマ「カムカムエヴリバディ」出演で大注目の庭師の素顔に迫る本格自伝。写真も多数収録する。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5./ 143p 図版
16p
978-4-10-354621-4
¥1,760〔税込〕



日本共産党～「革命」を夢見た100年～(中公新書 2695)

中北 浩爾 著
中央公論新社

戦前から高度成長期に、巨大な政治的磁場を作った日本共産党は、政権を担える社会民主主義政党になったのか。一貫して「革命」を目指しつつも大きく変化した100年の歴史を追い、国際比較と現状分析を交え同党の全貌を描く。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5./ 5p,440p
978-4-12-102695-8
¥1,210〔税込〕





物語スコットランドの歴史～イギリスのなかにある「誇り高き国」～(中公新書 2696)

中村 隆文 著
中央公論新社

独自の歴史とナショナル・アイデンティティを持つスコットランド。アダム・スミスに代表される啓蒙思想、ウイスキー、ゴルフ、伝統衣装タータン・キルト、独立問題など、多様なスコットランドを活写する。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5./ 10p,250p
978-4-12-102696-5

¥990〔税込〕



隠し女小春

辻原 登 著
文藝春秋

大手出版社の校閲者、矢野聡には秘密があった。ラブドールを小春と名づけ、一緒に暮らしているのだ。そんな聡が生身の女性と恋に落ち…。前途で聡を待ち受ける危険と陥穽とは？ 長篇サスペンス。『文學界』連載を単行本化。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5./ 261p
978-4-16-391539-5

¥1,760〔税込〕



マスクを外す日のために～今から始める、ウィズコロナの健やかな生き方～(幻冬舎新書 わ-1-4)

和田秀樹 著
幻冬舎

近い将来、新型コロナウイルス感染症予防対策の自粛生活から抜け出し、マスクを外しても健康に暮らしていくにはどうすればいいのか。マスクを外す日に備えて、体、脳、心の健康を守るノウハウを紹介する。

毎日新聞 2022/06/11

2022:5./ 177p
978-4-344-98658-9

¥990〔税込〕



ふりかえる日、日～めいのレッスン～

小沼純一 著
青土社

わたしのめいのサイエは、今日もあらゆるものに耳を澄ませて、ちょっとずつ大人になっていく。心のふるえや温もりを、春夏秋冬の「音」に寄せて描き出す、静かな物語の集積。『けいそうビブリオフィル』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/06/11

2022:3./ 315p
978-4-7917-7450-0

¥2,640〔税込〕



リベラルアーツと外国語

石井洋二郎 編
水声社

「役に立つ外国語」から「他者理解の想像力」へ。「外国語」という視点からリベラルアーツの問題を掘り下げる。2021年5月開催のオンラインシンポジウムの記録とシンポジウムに関連する識者のエッセイを収録。

毎日新聞 2022/06/11

2022:3./ 283p
978-4-8010-0626-3

¥2,750〔税込〕





九千年の森をつくろう!〜日本から世界へ〜

宮脇方式の森を発展させる会 編
藤原書店

土地にしっかり根づいた、管理不要の、本物の森をつくる“宮脇メソッド”の森づくり。その理論をはじめ、日本や世界で行われた森づくりの活動、宮脇昭の友人、知人らが綴った思い出、追悼記事などを収録する。

毎日新聞 2022/06/11

2022:4./ 710p 図版
16p
978-4-86578-336-0
¥6,820 [税込]



黙殺される教師の「性暴力」

南彰 著
朝日新聞出版

学校での性犯罪の実態を、実在する被害者の母親の視点からまとめた一冊。子どもが性被害を申告したときの家族の戸惑いと学校の初動、裁判闘争の過酷さと人間関係の分断、性犯罪被害者の救済を阻む「正体」などを綴る。

毎日新聞 2022/06/18

2022:3./ 278p
978-4-02-251813-2
¥1,760 [税込]



中島らもの特選明るい悩み相談室<その1> ニッポンの家庭篇(集英社文庫)

中島 らも 著
集英社

毎日新聞 2022/06/18

2002:8./ 229p
978-4-08-747475-6
¥506 [税込]



大戦略論〜戦争と外交のコモンセンス〜(ハヤカワ文庫 NF 589)

ジョン・ルイス・ギャディス 著
早川書房

ペルシャ戦争から第二次世界大戦まで、歴史の転換点における指導者の決断を通して、戦略思考の本質を伝授する。冷戦史の権威による名門イエール大学の人気講座のエッセンスを凝縮。

毎日新聞 2022/06/18

2022:5./ 614p
978-4-15-050589-9
¥1,430 [税込]



キャッチ・アンド・キル

ローナン・ファロー 著
文藝春秋

キャッチ・アンド・キル(捕えて殺す)とは何か。スパイの暗躍、大手メディアの裏切り。ハーヴェイ・ワインスタインの性的虐待疑惑をスクープした著者が、政界・司法界に及ぶアメリカの巨大な闇を暴いたノンフィクション。

毎日新聞 2022/06/18

2022:4./ 493p
978-4-16-391526-5
¥2,530 [税込]





信仰

村田 沙耶香 著

文藝春秋

「なあ、俺と、新しくカルト始めない？」 現実こそ正義、好きな言葉は「原価いくら?」の私が、カルト商法を始めようと誘われ…。信じることの危うさと切実さに痺れる、短篇&エッセイ集。『文學界』等掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/06/18

2022:6./ 155p
978-4-16-391550-0
¥1,320〔税込〕



コンビニ人間(文春文庫 む 16-1)

村田 沙耶香 著

文藝春秋

36歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

毎日新聞 2022/06/18

2018:9./ 168p
978-4-16-791130-0
¥660〔税込〕



旅は終わらない～紀行作家という人生～

芦原 伸 著

毎日新聞出版

あてもなく無銭旅行を繰り返した若かりし頃から、雑誌社に飛び込み、取材記者を目指した時、そして出版社を立ち上げるまで。雑誌『旅と鉄道』の編集長を務め、鉄道ブームを牽引してきた著者の人生の旅の記録。

毎日新聞 2022/06/18

2022:2./ 375p
978-4-620-32731-0
¥2,090〔税込〕



離婚の文化人類学～現代日本における<親密な>別れ方～

アリソン・アレクシー 著

みすず書房

変わる家族規範、熟年離婚、婚活…。アメリカ気鋭の人類学者が2000年代初頭の日本でフィールドワーク。現代日本の離婚について人類学的観点から考察し、日本社会の姿を現実の複雑さのままみずみずしく描く。

毎日新聞 2022/06/18

2022:3./
14p,361p,45p
978-4-622-09084-7
¥5,280〔税込〕



屈辱の数学史～A COMEDY OF MATHS ERRORS～

マット・パーカー、夏目 大 著

山と溪谷社

現代人の生活は数学に依存している。インターネット、ビッグデータ、選挙、道路標識、宝くじ、オリンピック、古代ローマの暦…。数学のミスによる喜劇的、ときに悲劇的な事例の数々を皮肉たっぷりに紹介する。

毎日新聞 2022/06/18

2022:3./ 478p
978-4-635-31040-6
¥3,190〔税込〕





戦争をやめた人たち～1914年のクリスマス休戦～

鈴木 まもる 著
あすなろ書房

第一次世界大戦がはじまった5か月後の、12月24日の夜。敵対するドイツ軍とイギリス軍との最前線で、銃声の代わりに「クリスマスキャロル」の歌声が流れ…。戦場でほんとうにあった奇跡のようなお話。

毎日新聞 2022/06/18

2022:5./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-7515-3113-6
¥1,650〔税込〕



西アフリカ・エボラ危機 2013-2016～最貧国シエラレオネの経験～

岡野 英之 著
ナカニシヤ出版

西アフリカでエボラ出血熱がいかに広がり、それに対して<人類>はいかに対処したのか。国際社会からローカルなレベルまで、さまざまな組織や個人が関わった感染症対策の経験を、人類学者が綿密な調査を通して描き出す。

毎日新聞 2022/06/18

2022:2./ 18p,275p
978-4-7795-1633-7
¥3,080〔税込〕



明代とは何か～「危機」の世界史と東アジア～

岡本 隆司 著
名古屋大学出版会

現代中国の原型をかたちづくり、東アジア史の転機ともなった「明代」。世界的危機の狭間で展開した財政経済や社会集団のありようを描き、民間から朝廷まで全体を貫く構造を鋭くとらえ、新たな時代像を提示する。

毎日新聞 2022/06/18

2022:5./
12p,296p,14p
978-4-8158-1086-3
¥4,950〔税込〕



ディズニーキャストざわざわ日記～“夢の国”にも××××ご指示のとおり掃除します～

笠原 一郎 著
フォレスト出版

手を抜くこともあれば、ミッションを忘れるほどゲストに対して怒りを覚えることもある。給料が安いと不満を持ったりもする-。ディズニーランドで8年間働いた著者が、“夢の国”の「ありのまま」の姿を伝える。

毎日新聞 2022/06/18

2022:1./ 205p
978-4-86680-921-2
¥1,430〔税込〕



土門拳の昭和 新版

土門拳 著
クレヴィス

シャープで力強い写真を撮る写真家・土門拳。昭和10年～54年までの報道写真家としての足跡を網羅。戦後日本の現実、昭和を彩ったスター、仏像や古美術などを捉えた作品を収録。エッセイや2022年4月までの年譜も掲載。

毎日新聞 2022/06/18

2022:4./ 207p
978-4-909532-74-9
¥2,970〔税込〕





魂の声をあげる～現代史としてのラップ・フランセ～

陣野 俊史 著
アプレミディ

郊外の貧困、移民、宗教、暴動、テロ...世界を取り巻く問題に対して声をあげずにいられなかったフランス語ラッパーたち。現代のフランスのラップ・カルチャーを徹底解説。アーティストの楽曲が聴ける QR コードつき。

毎日新聞 2022/06/18

2022:4./ 365p
978-4-910525-01-3

¥2,420〔税込〕



気候民主主義～次世代の政治の動かし方～

三上 直之 著
岩波書店

無作為抽出型の気候市民会議、若者による気候ストライキなど、気候危機から脱するための新しい試みが欧州から広がっている。日本各地での取り組みも紹介しながら、持続可能な世界への手がかりを探る。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5./ 15p,184p,6p
978-4-00-061532-7

¥2,310〔税込〕



ぼっぺん先生の日曜日(岩波少年文庫 70)

舟崎 克彦 著
岩波書店

「なぞなぞの本」の中に入りこんでしまったぼっぺん先生は、なぞを解かなければ外に出られない。ところが、そのなぞ解きときたら、トンチやヘリクツばかり。筑摩書房 87 年刊の再刊。〈ソフトカバー〉

毎日新聞 2022/06/25

2000:11./ 266p
978-4-00-114070-5

¥748〔税込〕



わたしたちは無痛恋愛がしたい ～鍵垢女子と星屑男子とフェミおじさん～ (1) (アフタヌーン KC)

瀧波 ユカリ 著
講談社

『臨死!! 江古田ちゃん』『モトカレマニア』の瀧波ユカリが放つ、令和の世の中サヴァイブストーリー！ この世界で「痛みのない人間関係」なんて築けるのか——？ 鍵をかけた SNS = 鍵垢でしか本音を吐露できない主人公・みなみ。"星屑男子"（顔のいいクズ）に雑に扱われたり、街中で人にわざとぶつかられたり、「女」の役割を押し付けられたり.....この世界って何なの？ と思いながら、SNS の鍵垢に本音を投稿する日々。そんな彼女の前に一人の年上男性——"フェミおじさん"が現れる！ <収録タイトル> 第 1 話 / 大丈夫ですか？ 第 2 話 / 「女の敵は女」って言われすぎ問題 第 3 話 / 友以外に寄りかけられるもの 第 4 話 / 私たちが「よくあること」なんて思ってしまうこんな世の中 第 5 話 / 呼吸して整えよう

毎日新聞 2022/06/25

2022:5./ 144p
978-4-06-527905-2

¥715〔税込〕





指揮官たちの第二次大戦～素顔の将帥列伝～(新潮選書)

大木 毅 著
新潮社

南雲、デーニッツ、パットン、ジューコフ…。第二次世界大戦をリードしてきた指揮官たちにつきまとう「評価」は、果たして本当に正しいものなのか。6カ国12人の知られざる言動と意外な横顔を綴った評伝。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5/ 219p
978-4-10-603880-8
¥1,650〔税込〕



化物園

恒川 光太郎 著
中央公論新社

空き巣の羽矢子が侵入した家の猫に引っかかれ、逃げた先で奇妙な老人に出会う「猫どろぼう猫」のほか、檻の中の醜悪な動物たちの歪んだ欲望を描いた全7篇を収録する。『BOC』等掲載に書き下ろし1編を加え書籍化。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5/ 306p
978-4-12-005536-2
¥1,760〔税込〕



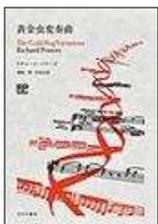
土を育てる～自然をよみがえらせる土壌革命～

ゲイブ・ブラウン 著
NHK出版

有効な温暖化対策「カーボン・ファームिंग」として注目されている環境再生型農業。その第一人者が、4年連続の凶作を乗り越えた末に、自然から学んだ「土を変える5原則」を伝授する。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5/ 277p
978-4-14-081900-5
¥2,420〔税込〕



黄金虫変奏曲

リチャード・パワーズ 著
みすず書房

遺伝暗号の解読に迫る若き科学者レスラー。4半世紀後、なぜか科学界から忽然と姿を消した彼と出会った若い男女は、その人柄に惹かれ、彼の人生を暗号のように解読しようとし…。現代アメリカ文学の鬼才パワーズの初期長篇。

毎日新聞 2022/06/25

2022:4/ 866p
978-4-622-09078-6
¥5,720〔税込〕



ダマして生きのびる虫の擬態

海野 和男 著
草思社

葉っぱや枝のふりをするコノハムシ、カレハカマキリ、背景に溶け込むキノカワガ、ベニシタバ、メダマ模様で驚かせて逃げるクスサン…。擬態する虫を豊富なカラー写真とともに紹介する。動画が視聴できるQRコード付き。

毎日新聞 2022/06/25

2022:6/ 119p
978-4-7942-2580-1
¥2,640〔税込〕





撤退論～歴史のパラダイム転換にむけて～(犀の教室)

内田樹／堀田新五郎／斎藤幸平／白井聡／中田考／岩田健太郎／青木真兵／後藤正文
／想田和弘／渡邊格／渡邊麻里子／平田オリザ／仲野徹／三砂ちづる／兪炳匡／平川
克美 著

晶文社

少子化・人口減、気候変動、パンデミック…。国力が衰微し、国民資源が目減りする
現在において「撤退」は喫緊の論件。衆知を集めて「撤退する日本はどうあるべき
か」を論じるアンソロジー。

毎日新聞 2022/06/25

2022:4./ 270p
978-4-7949-7307-8

¥1,870〔税込〕



沖縄「格差・差別」を追う～ある新聞記者がみた沖縄 50年の現実～

羽原清雅 著

書肆侃侃房

沖縄における格差や差別。限りない理不尽さは昨日今日、始まったわけではない。明
治時代に作り上げられた軍事体制がいまも変わらず沖縄を苦しめる。琉球処分が始ま
る沖縄の受難を細密かつ立体的に記述する。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5./ 293p
978-4-86385-520-5

¥1,760〔税込〕



梅は匂ひよ桜は花よ人は心よ

笠井 賢一 編

野村 幻雪 著

藤原書店

狂言の家から能楽に転じて芸の道を追求、2021年に伝統ある「雪」号を授与される
も、惜しくも急逝した著者が、晩年に書き残した「能とは何か」「わが生涯」をめぐ
る珠玉の随筆集。中村時蔵、野村万作ほかとの対談も収録。

毎日新聞 2022/06/25

2022:2./ 331p 図版

16p

978-4-86578-337-7

¥3,520〔税込〕



夢をかなえるゾウ<0> ガネーシャと夢を食べるバク

水野敬也 著

文響社

「「夢」がないやて？ ほな「夢の見つけ方」教えてろか」主人公を「宇宙一の偉人に
育てる」とガネーシャは宣言したが、そもそも彼にはかなえたい夢がなくて…。ガネ
ーシャの生い立ちも明かされる、夢ゾウシリーズの原点。

毎日新聞 2022/06/25

2022:5./ 541p
978-4-86651-497-0

¥1,848〔税込〕

